施策3

# 住民活動・地域交流の推進 (全 13 事務事業)

# 施策3.住民活動・地域交流の推進

# ● 施策評価表

● 事務事業評	価表		掲載開始 ページ
1. 地域連絡調	]整事業	(まちの魅力推進課)	1
2. 地域活動支	泛援事業	(まちの魅力推進課)	3
3. 町民表彰事	業	(まちの魅力推進課)	5
4. 住民活動団	日体育成支援事業	(まちの魅力推進課)	7
5. コミュニテ	ィ助成事業	(経営企画課)	9
6. 福祉バス貸	出事業	(福祉課)	11
7. シーメイト	イベント開催事業	(福祉課)	13
8. 成人式開催	事業	(社会教育課)	15
9. 地域公民館	2活動支援事業	(社会教育課)	17
10. 地域公民館	常維持管理支援事業	(社会教育課)	19
11. 町民大運動	<b>协会開催事業</b>	(社会教育課)	21
12. 公民館対抗	[綱引き大会開催事業	(社会教育課)	23
13. 地域公民館	等改修事業	 (社会教育課)	25

	施策評	<b>呼価表</b> (事業実施年度:令和 05 年度)	前期基本計画期間 《令和3年度~7年度》			
体総 合 計	基本目標	1. "ひと"と"まち"がにぎわい魅力あふれるまち	施策統括課まちの魅力推進課			
計 系画	施策	3. 住民活動・地域交流の推進	関係課 経営企画課·福祉課·社会教育課			

1. 施策の成果指標の達成度

1. 厄泉以及木油水以连风及		甘淮店	D.C.ロ・価/方		
成果指標 (関連する町の取り組むべきこと)	単位		R5目標値 <b>R5実績値</b>	実績値の年次推移	判定
町内会加入率		87.9	87.9	90 % 目標値 △ 実績値 ● 88 86 87.9 87.1 △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △ △	
3-1	%	$\rightarrow$	82.8	84 82 80 基準値 R3 R4 R5 R6 R7	С
3-1				五十世	
過去1年間に地域活動・住民活動に 参加した町民の割合		46.4	48.6	53% 目標値 △ 実績値 ● 48 43 46.5 49.3 50.0	
参加いた 一氏の計口	%	45.5		43 38 33 35.3	b
3-2		·		基準値 R3 R4 R5 R6 R7	

達成度:a …目標を達成している、b…目標をわずかに達成していない、c…目標を達成していない

### 2. 町が取り組むべきことの実施状況と方向性

3−1 社会変化に対応した地域活動を支援する	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中)	まちの魅力推進課
社会変化に対応した地域活動の支援 45 位 / 43 位	よりの極力推進議

	町が取り組むべきこと①	これからのまちに合った地域活動や住民活動のあり方について、他市町村からの情報収集を行います。					
	主な取り組み状況	・町内会の地域活動についての広報啓発や町内会連合会が行う地域活動についての研修等に対して支援 を行った。					
課題		なし					
	R7年度取り組み方針	・地域コミュニティの在り方を町内会連合会と議論し研究する。					
	町が取り組むべきこと②	町民の地域活動、住民活動への参画や企業、団体と町民の連携を促進します。					
	主な取り組み状況	・町内会長会議を実施し、行政情報を伝達周知した。 ・町内会活動等交付金、町内会活動等統括委託料を交付した。					
	課題	なし					
	R7年度取り組み方針	・町内会独自の活動や町行事の参加を支援する。					
	町が取り組むべきことの達成状況						
-	☑ 町が取り組むべきことを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている						
	□ 町が取り組むべきことを実施したが、成果があがっていない						
	町が取り組むべきことを実施でき	ず、成果があがっていない					

# 施策3

	構成する事務事業(評価対象事業のみ)											
		事務事業名			事務事業許	平価(転記)			挤	<b>西策評価</b>		
番号		事務事業の概要	₩ <b></b> Λ	事業費(千円)	今後の	優先	施策評価					
亏		3 333 3 3 7 7 7 7 7 7 7	経費区分	R4 R5		R6	方向性	度	での方向性			
-		担当課	会計区分	特定財源	<u>決算</u> 0	決算 0	<u>予算</u> 0	D		D		
		地域連絡調整事業		一般財源	31,355	32,350	32,505	D				
1		議の開催などにより町の各種事業	の伝達を行	合計	31,355	32,350	32,505	成果・費 用とも	_	成果・費用		
	う。			(内 会計年度任用職員人件費)		(623)		維持		とも維持		
		まちの魅力推進課	一般会計		0.32	0.31	0.25					
		地域活動支援事業		特定財源	0	0	0	D		D		
		也以心到又)及事未		一般財源	270	34	292					
2		地域活動についての広報啓発や町内会連合会が行 動についての研修等について支援する。		合計	270	34	292	成果・費 用とも	_	成果・費用 とも維持		
				(内 会計年度任用職員人件費)				維持		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		
L		まちの魅力推進課	一般会計		0.23	0.18	0.23					
			型か取 しゅうしょう	り組むべきことを構成	とり る事業の	<u> </u>						
	ビルド	新規事業の方向性や内容	なし									
	C/V	拡充事業の方向性や内容	なし									
_	廃止事業の方向性や内容 なし											
	スクラップ	縮小事業の方向性や内容	なし									
	□ 最優先 R7年度の町が取り組むべきことの方向性 □ 優先 □ 維持											

3-2 町民同士の交流を増やし、地域活動・住民活動に参加するきっかけをつくる	所管課
町民意識調査からみた重要度/満足度 順位(53項目中)	<b>社</b>
地域活動・住民活動に参加するきっかけづくり 53 位 / 48 位	<b>社</b>

町が取り組むべきこと①	町民が行う地域活動や住民活動を支援します。						
主な取り組み状況	・自治行政の振興、公益の増進に関し、特に功労があった者及び町民の模範と認められる行為があった者の表彰を行った。 ・団体等の資質の向上と交流を目的とした調査・研究、見学等の目的地への移動手段として団体等の活動に福祉バスの貸出を行った。						
課題	・住民活動団体育成支援については、平成28年度を最後に事業実績が無い。 ・要綱において利用対象とならない団体からのバスの貸出の要望がある。 ・福祉バス利用に際し、受益者負担が無い。						
R7年度取り組み方針	・引き続き表彰に関する情報収集を行う。 ・受益者負担等、福祉バスの運用について他市町の状況も参考に今後見直す。						
町が取り組むべきこと②	町民の身近な交流の場として、公民館の活用を促進します。						
主な取り組み状況	・公民館活動事業費補助金の交付及び公民館活動への助言を行った。						
課題	・少子高齢化や都市化・過疎化、ライフスタイルの変化等により、地域コミュニティの衰退が懸念されている。 ・公民館を利用する人が一部に限定されている。						
R7年度取り組み方針	・引き続き、公民館活動への支援や公民館長会で連絡事項の周知・情報共有を行う。						
町が取り組むべきこと③	若い世代や高齢者が地域活動や住民活動で活躍できる機会をつくります。						
主な取り組み状況	・講演会やスポーツ行事等を開催した。						
課題	・ライフスタイルや社会構造の変化等により、地域活動や住民活動への参加が減少傾向にある。						
R7年度取り組み方針	・今後いかに公民館の機能を維持していくか,どのような姿が望ましいかなど、地域の実情も踏まえながら研究していく。						
町が取り組むべきこと④	公民館役員研修など、地域の人材育成ができる機会を充実させます。						
主な取り組み状況	・6月に公民館役員を対象とした研修会を行った。また、県や福岡地区の公民館研修会に参加し、他市町村の事例等について情報収集を行った。						
課題	・町内会の脱退(未加入)や役員のなり手不足など、公民館運営に携わる人材の確保が難しい環境となっている。						
R7年度取り組み方針	・引き続き、公民館役員研修等を通じて、町民が公民館についての役割や知識を身に付ける機会をつくる。						
町が取り組むべきことの達成状況							
<ul><li>✓ 町が取り組むべきことを実施し、ほぼ目標どおりの成果をあげている</li><li>町が取り組むべきことを実施したが、成果があがっていない</li></ul>							
町が取り組むべきことを実施でき							

# 施策3

	+75+W 5	構成する事務事業(評価						
<del>-</del>	事務事業名		事務事業語	平価(転記) 事業費(千円	1	l		<b>施策評価</b>
番号	事務事業の概要 担当課   会計区	経費区分	R4 決算	<del>P未良(II)</del> R5 決算	/ R6 予算	・ 今後の 方向性	優先 度	施策評価 での方向性
	町民表彰事業	特定財源	0	0	0	) D		D
		一般財源	178	218	478	# # #		
1	自治行政の振興、公益の増進に関し、特に功労があった者 び町民の模範と認められる行為があった者を表彰する。	及 <b>合計</b> (内 会計年度任用職員人件費)	178	218	478	成果・費 用とも 維持	_	成果・費用 とも維持
	まちの魅力推進課    一般会	計 関与 正職員数(人)	0.39	0.45				
	住民活動団体育成支援事業	特定財源 一般財源	0	0		G		G
2	住民活動を始めて3年以内の団体の活動支援として助成金		0	0		1 2 3 750	•	終了廃止
	を交付する。	(内 会計年度任用職員人件費)	0.11	0.05	0.14	止		
	まちの魅力推進課  一般会	計 関与 正職員数(人) 特定財源	0.11	0.05 1,900		D		D
	コミュニティ助成事業	一般財源	0	0				
3	団体がコミュニティ活動に必要な備品を整備できるよう、 治総合センターのコミュニティ事業助成金について、町を紅 由して団体に助成する。	<b>合計</b> (内 会計年度任用職員人件費)	0	1,900	0	成果・費 用とも 維持	_	成果・費用 とも維持
	経営企画課 一般会		0.05	0.11	0.31	作行		
	福祉バス貸出事業	特定財源	0	0	0	D		D
		一般財源	3,979	4,078		成果·費		N
4	団体等の資質の向上と交流を目的とした調査・研究、見学の目的地への移動手段としてバスを貸し出す。	<b>合計</b> (内 会計年度任用職員人件費)	3,979	4,078	4,164	用とも維持	_	成果・費用 とも維持
	福祉課       一般会		0.08	0.18				
	シーメイトイベント開催事業	特定財源 一般財源	0	0	-	_		
5		爱 <b>合</b> 計	1	1	-	休止·廃 止済		
	福祉課       一般会	(内 会計年度任用職員人件費) 関与 正職員数(人)	0.04	0.05	-	ш/л		
		特定財源	0.04	0.05		D		D
	成人式開催事業	一般財源	631	1,421	2,376	N +th		
6	新成人が大人としての自覚意識を向上できるよう、毎年1 の第2日曜日に成人式を開始する。	合計 (内 会計年度任用職員人件費)	631	1,421	2,376	成果・費 用とも 維持	_	成果・費用 とも維持
	社会教育課     一般会		0.42	0.41	0.46			
	地域公民館活動支援事業	特定財源 一般財源	0 13,302	0 13,267		D		D
7	自治公民館が行う教育、学術及び文化に関する各種の事業活動を支援する。		13,302	13,267		成果・費 用とも	_	成果・費用 とも維持
		(内 会計年度任用職員人件費)	0.24	0.25	0.25	維持		この紙付
	社会教育課 一般会	計 関与 正職員数(人) 特定財源	0.34 324	0.35 382		D		D
	地域公民館維持管理支援事業	一般財源	6,151	8,231				
8	地域公民館の建物の維持管理と公民館で実施する維持管 を支援する。	四 <b>合計</b> (内 会計年度任用職員人件費)	6,475	8,613	15,853	成果・費 用とも 維持	_	成果・費用 とも維持
	社会教育課 一般会	計 関与 正職員数(人)	0.41	0.40				
	町民大運動会開催事業	大学 特定財源 一一般財源 一一般財源	0 413	2,139		D		D
9	町民相互の融和と親睦を深めるため、毎年10月の第2日 日に町民大運動会を開催する。	全 合計	413		施策2へ移動	成果・費 用とも	_	成果・費用 とも維持
		(内 会計年度任用職員人件費) 計 関与 正職員数(人)	0.21	0.50	-	維持		この抵付
	社会教育課 一般会	特定財源	0.21	0.59 0		D		D
	公民館対抗綱引き大会開催事業	一般財源	15	67				
10	町民相互のふれあいを深め、健康、体力の増進を図るため 公民館対抗による綱引き大会を行う。	(内 会計年度任用職員人件費)	15	67	列事業 と統合	成果・費 用とも 維持	_	成果・費用 とも維持
	社会教育課 一般会	計 関与 正職員数(人)	0.05	0.11	-			
	地域公民館等改修事業	特定財源 一般財源	37,828 5,742	60,675 920		D		D
11	   すべての公民館の安全性と機能性を向上させるため、建物		43,570	61,595	· ·	成果・費 用とも	0	成果・費用
	の長寿命化改修工事を実施する。 社会教育課 一般会	(内 会計年度任用職員人件費) 関与 正職員数(人)	0.45	0.53	0.57	維持		とも維持

町が取り組むべきことを構成する事業の方向性									
ビルド	  新規事業の方向性や内容 	なし							
- الراد	拡充事業の方向性や内容	なし							
スクラップ	廃止事業の方向性や内容	・住民活動団体の育成については、初期活動の段階から助成金などに頼らない自立的な運営ができるよう支援していく。県や民間が実施する助成制度については引き続き案内を行う。							
	縮小事業の方向性や内容	なし							
R74	<b>軍度の町が取り組むべきこ</b> 。	□ 最優先 □ 優先 □ 維持							
3. 施策の約	総括と今後の展開								
町内会加入率自体は県内でも高い数値となっているが、「町内会加入率」はやや減少傾向にある。このことについての町内会からの相談は特に多くなく、自主的に対応している町内会もある。地域活動参加への関心の希薄化、定年延長などによる在宅高齢者の減少や共働き世帯の増加などの影響も考えられる。今後もそれぞれのライフスタイルに応じた施策運営を実施していきたい。また、今後の公民館の機能の維持やどのような姿が望ましいかなど、地域の実情も踏まえながら研究していく。									
4. 施策の進行状況									
☑ 目標に向かって順調に進んでいる									
目標に向かってある程度順調に進んでいる									
=	□ 目標に向かってあまり進んでいない								
	目標に向かって進んでいない								

[福岡県志免町]

基本性	青報	0;	5年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業	:				事務事業コード	0403101
事務事業名		地域連絡調整事業		-	担当課まちの魅力推進課		担当係	地域づくり係	
総合計画系	施策	03	住民活動・地域交流の推進	予算	会計款	01	一般会計 総務費		
計画系	取り組み方針	3-1	社会変化に対応した地域活動を支援する	科目	項目	01	総務管理費 一般管理費		
根拠法令条例等 志免町町内会活動等交付金交付要綱		 町町内会活動等交付金交付要綱	個	固別計画					
実施期間 05年度のみ						年度~	~  年度		

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

(1)										
_		対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)				
事	①対象	⑦ 町内会	町内会	30	30	30				
労主	(誰を、何を)	<b>①</b>								
事務事業		( <del>)</del>								
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	行政情報や町内の活動(一斉清掃などの活動)が正しく的確に伝達され、地域で実施される								
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	町内会長会議の開催などにより町の各種事業の伝達を行う ・町内会長会議の開催 ・町内会交付金、町内会長委託料の支払い事務								

#### (2)指標達成状況

(2/)		77/// 6							
	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	町内会長会議開催数	1	回	目標 実績	6 6	6 6	6	100.0%
1	成果		<b>1</b>	——— 件	目標	30	30	30	103.3%
	13021	IJANITKI ACTI M	'		実績 目標	33	31		103.370
ウ					実 績				
エ					目標 実績				
オ					目標				
~,					実績 目標				
カ					実績				

#### (3)総事業費の推移

	:::/mt4		京内訳(単位	:千円) ないことがあります	04年度	05年度	05年度	06年度	07年度
		іДДІСЬ	うしいにからわ	ないことかめりより	(決算値)	(当初予算)	(決算値)	(当初予算)	(計画)
事		特定		出金、地方債	0	0	0	0	
	経	財源	その他	特定財源	0	0	0	0	
業			一般則	才源	31,355	32,299	32,350	32,505	
費	費		合計(	A)	31,355	32,299	32,350	32,505	
頁		内	会計年度任用	用職員人件費)			(623)		
		正職	員人件費[按	分](B)	2,452	3,488	2,460	2,003	
		トータルコスト(A)+(B)			33,807	35,787	34,810	34,508	
関	関与職員数(単位:人) 正職員				0.32	0.45	0.31	0.25	

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
昭和34年頃から、各町内会に対し行政サービス内容等を住民に伝達周知してもらい、また地域福祉活動の指導者として、より活動を行いやすくするために、事務費の補助を開始した。		令和2年度から交付金に変わり、町に提出する書類が大幅に削減できて良かった(町内会関係者)。

事務事業名 地域連絡調整事業

2 分析・検証(CHECK)

<u> </u>		・検証(Ch	_	()			TE-	В	三位は年の判除用力なが無限を発生を持った。	和中
		平価の視点					<u>項</u>	.目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
		を				貢献度			行政からの伝達が正しく的確に伝達されることは、住民活動・地域交流   の推進としての貢献度が高い。	
(事	・務事 指す3	「業の成果が」 姿の実現に直	上位施第 結してし	いる	Щ	貢献度			の作品にしての資配技が同い。	
か)		- 1-1-11			┵≡	貢献度				
女	-	D適切性			<b>✓</b>	妥当で	ある		行政の円滑な運営を図るためには、妥当である。	_
		・画、町民の二 ノて、意図が通				検討の	余地が	ある		3
性が			293 (0.	, 0		検討の	余地が	多い		
自	治位	関与の必	要性		~	妥当で	ある		町内会長会議を行うことで、住民参画を取り入れている。	
		が主体で取約				検討の	余地が	ある		
業	か、伯	民参画の余地	也はない	いか)		検討の	余地が	多い		
成	果0	D向上余地			<b>V</b>	期待す	る成果	が得られている	定期的に会議が行われており、町の各種事業の伝達が行われている。	
		る成果を得ら				成果の	向上余	地がややある	1	
後期ある	期待 <sup>7</sup> るか)	する成果をあ	ける余り	也か	П	成果の	向上余	:地が多い		
	_	D適切性			\ <u>\</u>	適切で	ある		町内会は、地域コミュニティを形成しているため適切である。	
効 (意	図を	達成するうえ	で、現	犬の	1			ややある		3
州对		定が最も有効 象設定はない		有	=		余地が		1	
		D適切性	,		┵≡	適切で			町の各種事業の伝達において、会議などは適切な手段である。	
(意	図を	達成するうえ	で、現	犬の	=			ややある		
手	段がは	最も有効か、他 ないか)	也に有交	かな	=		余地が		1	
		D効率化			╼	効率的		<i>9</i> 01	  必要最低限の職員で取り組んでいるため、これ以上の見直しの余地は	
			1 244-1-		$\equiv$			ややある	ない。	
		順、関与職員 Jの余地はなり		つい	=		余地が		-	
払投	<del>,</del> 入 =	コストの適ち	<b>汀性</b>		+=	適切で		3/01	  必要なコストのため削減の余地はない。	
Δη XII					ᄩ			ややある	20-5 8-1 VI 0)/C00H3W40/W50R8 8 V .0	3
(12		るコストは適 まないか)	正か、肖	削減					-	၁
		催保の適切	性		+=		余地が	多い	  受益者負担が発生する事業ではなく、適切である。	
			.—		=	適切で		1b 1b+ 7	文曲有兵型が元王する事業ではなく、過めてめる。	
		負担は適正だ 等はないか)	い、国、県	具等				ややある	-	
	110-23	3 101 01 0 75 7			_		余地が			
			○上	Т 1		当性	ე. <u>⊨</u>		検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など) 及び町内会長に対する統括業務委託の仕組みとなって4年目となった。行	正力
			0点		1点	2点	3点		及び町内云衣に対する杭括未捞安託の圧組みとなって4年日となった。1」 提出書類のやり取りがスムーズにできた。	以、
		いずれか0点	d		С	С	С		WELL TO SERVICE THE SECTION	
$\triangle$	有	しずわか1上	_		_	_	_			
分   析	効性	いずれか1点	С		С	С	С			
•	•	合計4点	С		С	b	b			
検	効率			+						
証	率性	合計5点	С		b	b	a			
結果		合計6点	С		b	а	а			
		а	業務ある		内容	学は適	切で			

3 /1	亚I (A)	~ I I O I	N) L).	J 1/I 1/K	<b>叫小</b>	ے ن	に07年度以降の対応方針を快割する」
				コストの	)方向性	ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後の	成果の	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
		0	成果	・費用	とも糸	辪	

[福岡県志免町]

基本情	青報	√0;	5年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業	É			事務事業コード	0403102
Iulii	事務事業名		地域活動支援事業		担当課	まちの魅力推進課	担当係	地域づくり係
<b>%公 /</b> ★	+1- 55			子	会計	01   一般会計		
総合 計画系	施策	03	住民活動・地域交流の推進	算	算款	02 総務費		
計画系	野り組み古針	2_1	社会変化に対応した地域活動を支援する	科目	項	01 総務管理費	İ	
当 糸	4人の水田のアノリル!	3-1	仕云爻11  に別心ひに地域泊割で又版する		1 目	06 自治振興費	Ì	
根挑	処法令条例等		C	) 1	個別計画			0
実施	期間 05	年度0	のみ ✓ 単年度繰返 H 27 年度より開	始		期間限定(複数年)	年度 <sup>2</sup>	~  年度

### 1 計画·実施(PLAN·DO)

### (1) 事務事業の目的と事業内容

+		対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
事	①対象	⑦ 町内会	町内会	30	30	30
事務事業	(誰を、何を)	<b>(1)</b>				
		(b)				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	地域活動や交流、助け合いなどが推進される				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	町内会の地域活動についての広報啓発や町内会連合会が行う地域活動 を行う ・町内会活動の広報掲載 ・町内会連合会事業への補助金交付	こつい	ての研修	等に対し	て支援

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	<sup>目指すべき</sup> 方向性	単位		04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	広報紙掲載町内会数	<b>1</b>	町内会	目標	2	2	2	100.0%
	71137		ı	-11.17	実 績	2	2		100.070
1	活動	  町内会連合会事業補助金額	<b>^</b>	千円	目 標	270	270	270	12.6%
-1	/白刬	門內云连口云 <del>事未</del> 補功並做 	'	111	実 績	270	34		12.070
ゥ	出出	  町内会連合会が行った会議や研修	•	件	目標	8	8	8	100.0%
.,	成果	町内云建ロ云が1177に云磯や竹杉		1+	実 績	8	8		100.0%
エ					目 標				
1 -					実 績				
才					目 標				
را					実 績				
力					目 標				
71					実 績				

#### (3)総事業費の推移

			原内訳(単位		04年度	05年度	05年度	06年度	07年度
	※四捨	五入により合計値が合わないことがあります			(決算値)	(当初予算)	(決算値)	(当初予算)	(計画)
事		特定		出金、地方債	0	0	0	0	
	経	財源	その他	特定財源	0	0	0	0	
業			一般則	才源	270	292	34	292	
費	費		合計(	(A)	270	292	34	292	292
頁		(内:	会計年度任用	用職員人件費)					
		正職	員人件費[按	分](B)	1,763	2,790	1,429	1,843	
		トーク	タルコスト(A	()+(B)	2,033	3,082	1,463	2,135	
関	与職員	員数(単	单位:人)	正職員	0.23	0.36	0.18	0.23	

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
町民の価値観の多様化や、今後人口の増加 に伴う都市化が進むことで、地域活動への 参加者低下が懸念される。	近年、全国各地で大規模な災害が多発して おり、町内会等を単位とした様々な相互扶 助活動がますます重要となってきている。	一般住民から、町内会(組合)の脱退や加入 についての意見(苦情など)が寄せられてい る。また、町内会側からは組合の加入促進に ついての相談がある。

事務事業名 地域活動支援事業

2 分析・検証(CHECK)

<u> </u>		・検証(Ch 平価の視点	_	()			項	В	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
I F		年間の祝え				<b>克林</b> 奇		В	計画和未の判断理由及の課題認識、課題に対する対応策制的の表現の表現合会が、各町内会長あてに研修などを行うことは、住民活動・	刊化
		でなべい 「業の成果が」		<b>Т</b>	쁨	貢献度			町内云建石云が、台町内云衣のでに切じなとを行うことは、住民石動・   地域交流の推進としての貢献度が高い。	
目	指す	姿の実現に直	結してい	13	H					
かき		D適切性			님	貢献度 妥当で			  総合計画の町が取り組むべきことで「地域活動を支援する」と掲げてい	
女		画、町民のニ	ーズ. 法	<b></b>	=	検討の		± Z	るため妥当である。	3
	に対し	して、意図が通			=		余地が		1	3
1 7		*関与の必	要性		-	妥当で		<i>9</i> 01	■ 町民が活発に交流し自主的に活動するには、町が地域活動を支援する	
		が主体で取組		由	=		余地が	 あろ	ことは重要である。	
		民参画の余地			=		余地が		1	
成	果の	D向上余地			+=			<u>- ・</u> が得られている	町内会がもっている課題を中心とした研修を行うことで、課題解決に向	
(期	月待す	る成果を得ら	れたか	、今	<u></u>	成果の	向上余	地がややある	けた推進ができる。	
	期待 <sup>7</sup> るか)	する成果をあり	ける余功	也か		成果の	向上余	地が多い	1	
有 <sup>対</sup>	象0	D適切性			<b>V</b>	適切で	ある		地域活動を支援を行う対象としては、地域を構成する町内会が最も適	1
効億		達成するうえ 定が最も有効:				改善の	余地が	ややある	切である。	2
		象設定はない		·Ħ		改善の	余地が	多い		
手	段0	D適切性			✓	適切で	ある		地域活動への支援としては、活動の情報発信などは適切である。	
		達成するうえ 最も有効か、他				改善の	余地が	ややある		
手	段は	ないか)	□改善の余地が多			余地が	多い			
兼	務()	D効率化			=	効率的			必要最低限の職員で取り組んでいるため、これ以上の見直しの余地は  ない。	
		順、関与職員」の余地はない		こい	ᄩ		.,, .	ややある		
40					+=	改善の		多い		
ᄽ		コストの適切			ᄩ	適切で		1b 1b + 7	削減の余地がなく、必要なコストで行っている。 	3
		るコストは適 まないか)	正か、肖	<b></b>  減	=			ややある	-	၁
		産保の適切	性		+=	改善の適切で		少(1	  国県などの補助金はなく、受益者は全住民であり負担は考えられず、改	
				- A-/	ᄩ			ややある	善の余地はない。	
		負担は適正か 等はないか)	か、国、5	₹₹	=	改善の			1	
						当性	7,4-0/3		検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
			0点	1	点	2点	3点	令和5年度は、	. 地域コミュニティの活動が再開された一年であった。そのため、地域コミュ	
		いずれか0点	d	Г	С	С	С		り方や存在意義などを考え直すものとなり、今後も町内会連合会と議論を	交わ
	左	. , ,,,, 0,,,,	u		Č		C	していく予定で	じめる。	
分长	有効性	いずれか1点	С		С	С	С			
析・	性・	合計4点	計4点 c c b b							
検	効率						~			
証	率 性 合計5点 c b b a			a						
結果					а	а				
		а	業務ある		内容	学は適	切で			

3 /1	当(乙		N) L).	7.1/1 .1/		ے ن	に07年長以降の対応力針を快割する」
				コストの	)方向性	ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の	維持		Е	D		
今後の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
		)	成果	・費用	とも糸	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	□0!	5年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業					事務事業コード	0403201
胃	<b>事務事業名</b>		町民表彰事業	1	担当課	まちの魅力	力推進課	担当係	地域づくり係
総体	施策	03	住民活動・地域交流の推進	予	会計款	01 一般	2会計 8基		
総合 計画系	野い組み士針	2 2	町民同士の交流を増やし、地域活動・住民活動 に参加するきっかけをつくる	算科目	項	1.03.	新貝 务管理費		
曲 糸	4人の北田の人の東	3-2	に参加するきっかけをつくる	Н	目	06 自治	台振興費		
根拠	见法令条例等	志免	町表彰条例	但	別計画				
実施	期間 □05	年度の	Dみ ☑ 単年度繰返 S 43 年度より開始	台		期間限定(	複数年)	年度 <sup>~</sup>	~   年度

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

( ) /	<del>ず切ず未</del> V/ロロC <del>サ未</del> ビ											
		対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)						
事務事業	①対象	⑦町民	人	46,631	46,588	46,497						
労主	(誰を、何を) 	<u> </u>										
業		(b)										
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	自治振興に貢献する意識が向上する ②意図 (対象をどのような状										
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	節と認	められる	行為があ	った者							

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	表彰審査委員会開催数	1		目標	1	1	1	100.0%
			·		実績	<u>၂</u>	<u> </u>		
1	成果	自治振興表彰者数	↑	回	目標	2	5	4	80.0%
•	12021		ı	Н	実 績	1	4		00.070
ウ	成果	町民表彰者他	<b>1</b>	ı	目 標	20	20	10	25.0%
	以木	門氏衣幹有他 	ı	人	実 績	10	5		25.0%
エ					目標				
					実 績				
才					目 標				
/)					実 績				
力					目 標				
71					実 績				

#### (3)総事業費の推移

	※四捨		京内訳(単位 い合計値が合わ	:千円) ないことがあります	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
事		特定	国·県支出	出金、地方債	0	0	0	0	
	経	財源	その他	特定財源	0	0	0	0	
業			一般則	才源	178	490	218	478	
費	費		合計(	(A)	178	490	218	478	
頁		内	会計年度任用	用職員人件費)					
	正職員人件費[按分](B)				2,982	3,564	3,566	4,000	
		トーク	タルコスト(A	v)+(B)	3,160	4,054	3,784	4,478	
関	関与職員数(単位:人) 正職員				0.39	0.46	0.45	0.50	

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
志免町表彰条例(昭和43年制定)の施行に 伴い開始。基準に従い、特に功労・善行等が あった者を表彰している。	平成22年に表彰基準を見直したことに伴い、表彰者数自体はそれ以前と比べ減っている。	なし

事務事業名 町民表彰事業

2	分析	r・検証(C⊦	<u>HECK</u>	()					
		評価の視点				戼	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
	上位	施策への貢	献度		☑貢献	度高い		功労があった方及び町民の模範となる方を労い表彰することで、主体	
		事業の成果が」 一姿の実現に直			□貢献	度ふつう		] 的に活動しようとする町民のまちづくりへの参画の推進につながる。	
	か)	女の天坑に巨	MD C C	6.	□貢献	度低い			
女	意図(	の適切性			☑妥当	である		功労があった方及び町民の模範となる方を労い表彰することは、地域	
当		計画、町民の二 して、意図が通			□ 検討	の余地が	<b></b> ある	¶に貢献する意識をもってもらうと共に、ふるさと意識を高めることで町 ■民のまちづくりへの参画の推進につながる。	3
	<del>す</del> に対	して、思図が返	19J C 00	6	□検討	の余地が	多い		
	自治	体関与の必	要性		☑妥当	である		町発展のため町が取り組むべき事業である。	
		本が主体で取約			□検討	の余地か	<b></b> ある		
	業か、化	住民参画の余り	也はない	か)	□検討	<b>検討の余地が多い</b>			
	成果(	の向上余地			☑期待	する成果	が得られている	表彰者は条例で規定されているため、これ以上の成果向上の余地はな	
		する成果を得ら			□成果	の向上弁	(地がややある	[\(\frac{1}{6}\)	
	をあるか		1) ठऊम	3/J,	□ 成果	の向上弁	≷地が多い		
有	対象(	の適切性			☑ 適切	である		表彰審査委員会で被表彰者の選考を行っている。	
	(意図る	を達成するうえ 定が最も有効	で、現状かんかに	め	□改善	の余地が	ややある		3
		象設定はない		Ħ	□改善	の余地が	多い		
	手段(	の適切性			☑ 適切	である		功労があった方や町民の模範となる方に表彰式の場で表彰することは	
		を達成するうえ 、最も有効か、他			□ 改善(	の余地が	ややある	適切である。	
		ないか)	BIC H XI	΄δ	□改善	の余地が	多い		
	業務(	の効率化			☑効率Ⅰ	的である		必要最小限の経費で実施している。	
		手順、関与職員		olı	□改善	の余地か	ややある		
	て見直	しの余地はなり	いか)		□改善	の余地か	多い		
効	投入.	コストの適ち	刃性		☑ 適切	である		必要最小限の経費で実施している。	
率		するコストは適	正か、削	減	□ 改善(	の余地が	ややある		3
性	の余地	はないか)			□改善	の余地が	多い		
	財源	確保の適切	性		☑ 適切	である		国や県等の補助等はなく、条例に基づいた事業であり受益者負担を求	
		者負担は適正な	か、国、県	等	□改善	の余地が	ややある	めるものではない。	
	の補助	)等はないか)			□改善	の余地が	多い		
				3	妥当性			検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
			0点	1,5	点 2点	3点		施方法やスケジュールなど見直しを行った。また必要最小限の経費で実施	いて
		いずれか0点	d	c	c	С	いる。		
	有	<u> </u>					ł		
分	(対	いずれか1点	С	С	С	С			
析	「性	合計4点	С	С	b	b			
楨	效	<u> </u>		_		, D			
訂		合計5点	С	b	b	a			
紀		合計6点 c b a a							
	る 業務の内容は適切で ある				容は道	適切で			

3 /1	亚I (A)	~ I I O I	N) L).	J 1/I 1/K	<b>叫小</b>	ے ن	に07年度以降の対応方針を快割する」
			コストの方向性			ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後の	成果の	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
		0	成果	・費用	とも糸	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報		□05	5年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業				事務事業コード	0403202
事務事業名				住民活動団体育成支援事業	‡	担当課	まちの魅力推進課	担当係	地域づくり係
総体	ħ	<b>拖策</b>	03	住民活動・地域交流の推進	予算	会計款	01 一般会計 02 総務費		
総 合 計 画 系	取り約	且み方針	3-2	町民同士の交流を増やし、地域活動・住民活動 に参加するきっかけをつくる		項目	01 総務管理費 06 自治振興費		
根挑	根拠法令条例等			町住民活動育成支援助成金交付要綱	偃	別計画			
実施	実施期間 □05			Dみ ②単年度繰返 H 24 年度より開	冶		期間限定(複数年)	年度 <sup>~</sup>	~   年度

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

( ) /	<del>ず加サ木</del> ツロロC <del>サネ</del> ビ					
		対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
事	①対象	⑦ 新規住民活動団体(まちの魅力推進課把握分)	団体	0	0	0
防虫	(誰を、何を)	<u> </u>				
事務事業		<b>(2)</b>				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	自主的な活動を継続して行う		•		
・住民活動を始めて3年以内の団体の活動支援として助成金の交付 ・助成団体の募集、申請書類の審査、住民活動団体育成支援助成金判定委員会の開催 (どのようにして) 内 ※実施年度に行った主な活動 容						交付、団

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	判定委員会開催数	<b>1</b>		目 標	2	2	2	
	加到	刊定安兵公開准数	ļ	<u> </u>	実 績	0	0		
1	活動	助成金交付団体数	<b>1</b>	団体	目標	3	3	3	
1	/口到		Ī	四件	実 績	0	0		
ゥ	成果	助成金交付金額	<b>1</b>	千円	目 標	150	150	150	
	以木	以及此文门业镇	I	117	実 績	0	0		
エ					目 標				
					実 績				
才					目標				
7]					実 績				
力					目 標				
73					実 績				

### (3) 総事業費の推移

(3)	心士不	· 貝 v / J i	エリグ					_	
		財源	京内訳(単位	:千円)	04年度	05年度	05年度	06年度	07年度
	※四指		り合計値が合わ	ないことがあります	(決算値)	(当初予算)	(決算値)	(当初予算)	(計画)
事		特定	国·県支出	出金、地方債	0	0	0	0	
7	経	財源	その他	特定財源	0	0	0	0	
業			一般則	才源	0	250	0	250	
費	費		合計(	(A)	0	250	0	250	
貝		(内:	会計年度任用	用職員人件費)					
	正職員人件費[按分](B)				840	851	399	1,120	
		トーク	タルコスト(A	()+(B)	840	1,101	399	1,370	
関	与職員	員数(単	单位:人)	正職員	0.11	0.11	0.05	0.14	

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
	これまでボランティア団体の中心となってき た団塊の世代が高齢化する中、現役世代は 仕事や子育てで余裕がなく、団体の立ち上	判定委員会から、団体の育成支援を目的としているため、団体が徐々にステップアップできるよう支援することと意見が寄せられている。

事務事業名 住民活動団体育成支援事業

2 分析・検証(CHECK)

2 5	刀竹	f·検証(C		() 		12	ī P	がほな田の判断部内なが無時対象 無時に対する対応等	和中					
	⊢ <i>∤</i> ⊹	評価の視,施策への貢					目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定					
								団体の初期支援を行うことで、自主的で自立的な活動が行われ、新たな  安流が生まれる。						
( <del> </del>	事務 1指3	事業の成果が. す姿の実現に直	上似他束 直結してし	いる	=	度ふつう		Z/m/J-2-541000						
か	<u> </u>	a Sale Lee IVI			=	度低い								
3		]の適切性			☑ 妥当			上位施策の目指す姿を実現するためには、活動団体の活動が継続的に 行われることは重要である。						
		計画、町民の二 対して、意図が)			□ 検討(	か余地が	<b>ぶ</b> る	1111111111111111111111111111111111111	2					
ゴエカ	۱)			Ů	□ 検討(	か余地が	多い							
	自治	体関与の必	要性		□妥当	である		助成金の交付は、県や社会福祉協議会、民間の助成金などもあるため						
		体が主体で取			□検討(	の余地が	ある	廃止を含めた検討が必要だと考え、第三者の意見を踏まえながら行っ   ていく。						
業	きか、	住民参画の余	地はない	か)	☑検討◎	の余地が	多い							
月	<b></b>	の向上余地	3		☑期待	する成果	が得られている	助成金交付団体に対して、団体運営のアドバイスなど活動状況に応じた						
		する成果を得ら			□ 成果(	の向上á	≷地がややある	支援を行っていくことで、自主・自立的かつ継続的な活動できる団体/ 育成することが可能である。						
	があり	寺する成果をあ ♪)	りの赤丸	RW,	□ 成果(	の向上系	≷地が多い	↑ 目成りることが円形である。 ┃						
有対	対象	の適切性			☑ 適切	である		助成金の交付する団体は、判定委員会で交付団体を決定している。	1					
効 (清	意図	を達成するう	えで、現れ	大の □ 改善の余地が			<b>でやある</b>		2					
		设定が最も有効 対象設定はない		□改善の余地が			多い							
手	F段	の適切性				である		初期段階の住民団体に環境整備や活動を支援することは、活動の継続						
(元	意図	を達成するう	えで、現物	やの	改善(	の余地が	<b>でやある</b>	につながる。ただ、助成金を交付することが手段として有効かは今後検						
		が最も有効か、 はないか)	他に有効	な		の余地が	多い	<b> </b> 討が必要と思われる。						
弟	業務の効率化							必要最低限の経費で実施している。						
( ≜	<b>学</b>	:壬順 関5職員	F順、関与職員人数につい				<b>でかある</b>							
効	<b></b>	、コストの適	切性	□協力である				助成金の在り方を見直すことで、投入コストについて改善の余地があ						
率(出	む 7	入するコストは適正か、削減  ひ善の余地が				D余地力	<b>でやある</b>	<b>්</b> දිං						
		也はないか)	3TL/3 ( 13:	1/194	□ 改善(				•					
貝	才源	確保の適切	性		一適切			国や県等の補助金はなく受益者負担を求める事業ではない。	1					
(2	四米	者負担は適正	#\ E   E	生	=		<b>ややある</b>							
		19月1日は過止 助等はないか)	の、国、 <sub>万</sub>		☑改善									
					妥当性			I 検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)						
			0点	1,5		3点	住民活動を始	めて3年以内の団体の活動を支援するための助成金であるため、団体のエ	た上					
		いずれか0点					げがなければ	申請団体はなく、令和5年度は申請がなかった。						
			u	С	; C	С		しも検討したが、住民活動を行う団体には、長期的な活動を継続してもられ						
分	すった		С		: c	c	で日的とし(、	- 初期の段階から助成金などに頼らない自立運営を促進していく必要があ 発止する。なお、団体への支援については、金銭的な補助でなく、相談助言	るに					
析	斤 催						報提供などを		, 113					
•	・ ・ 合計4点 C 向				: b	b	TRIMEIN OF COUNCIL 600							
検証	× × ×		С	b	b	а								
結	性	生		Ľ		u								
果		合計6点	С	b	a	а								
		С			るくあり は見直し									

<u>3 万</u>	町(A)	C 1101	N) L).	」1711 1195	叫响不	ےں ہے:	に07年度以降の対応方針を検討する」
			=	コストの	)方向性	ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後の	成果の	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	(	3	終了	廃止			

[福岡県志免町]

基本性	青報	05	5年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業	<u> </u>				事務事業コード	0503201
	<b>事務事業名</b>		コミュニティ助成事業	;	担当課	経営企画課		担当係	政策推進係
842 At	総体 施筆			3	会計	01	一般会計		
総合計画系	施策	03	住民活動・地域交流の推進	予算	款	02	総務費		
計画系	取り組み方針	3-2	町民同士の交流を増やし、地域活動・住民活動 に参加するきっかけをつくる	科目	項	01	総務管理費		
当 糸	4人の水田の人の10年	3-2	に参加するきっかけをつくる	Ħ	目	06	自治振興費		
根拠法令条例等		志免	町コミュニティ助成事業助成金交付要綱	個	固別計画				
実施	期間 🗍 05	5年度の	Dみ ☑ 単年度繰返 H 28 年度より開	始		期間附	艮定(複数年)	年度~	~  年度

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

(1)	<del>ず切ず未</del> の口可に <del>すれ</del> り										
		対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)					
事	①対象	⑦町内会	団体	30	30	30					
事務事業	(誰を、何を)	① 事業実施団体数	団体	0	1	1					
業		(b)									
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・コミュニティ活動に必要な備品等が整備される									
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	(一財)自治総合センターが宝くじの収入を原資として実施する社会貢献 実施事業に対し助成金が交付される。助成金の申請は、町を経由し自治 シターで助成金の採択・不採択が決定された後、町を通じて団体に交付で ・町内会長会議での翌年度の事業募集案内・今年度実施事業の実績報	総合セ ける。	ンターに		総合セ					

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	情報提供回数	<b>1</b>		目標	2	2	2	100.0%
,	711373	ПЭТКІЖЕЙТЫХ	•		実 績	2	2		1001070
1	活動	交付申請受理件数	<b>↑</b>	件	目標	1	1	1	100.0%
1	心到		I	1+	実 績	1	1		100.0%
ウ	活動	助成金交付件数	<b>A</b>	件	目 標	1	1	1	100.0%
'	心到	助队並又刊 什 <u>奴</u>	I	1+	実 績	0	1		100.0%
エ	成果	事業実施団体数	<b>^</b>	団体	目 標	0	1	1	100.0%
	以木	<del>事業天</del> 旭凶体数	l	四本	実 績	0	1		100.0%
才					目 標				
7)					実 績				
力					目 標				
71					実 績				

#### (3) 総事業費の推移

		財源	原内訳(単位	:千円)	04年度	05年度	05年度	06年度	07年度
	※四捨	五入によ	り合計値が合わ	ないことがあります	(決算値)	(当初予算)	(決算値)	(当初予算)	(計画)
事		特定	国·県支出	出金、地方債	0	0	0	0	
7	経	財源	その他	特定財源	0	1,900	1,900	0	
業			一般則	才源	0	0	0	0	
#	費		合計(	A)	0	1,900	1,900	0	
費		(内:	会計年度任用	用職員人件費)					
		正職	員人件費[按	汾](B)	383	469	809	2,464	
		トーク	タルコスト(A	v)+(B)	383	2,369	2,709	2,464	
関	与職員	員数(単	单位:人)	正職員	0.05	0.06	0.11	0.31	

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
平成28年度に要綱を制定し、事業の募集を 開始した。	令和2年度に2団体の事業が採択されたこともあり、町内会長会議での事業周知後に本事業への問い合わせが増えた。	なし

事務事業名コミュニティ助成事業

2 分析・検証(CHECK)

<u> </u>		・検証(Ch 平価の視点	_	()		TE	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定						
Ιŀ		年価の税が			44종 🔲		₹□	町内会が本事業を活用し活動に必要な備品等を整備することで、盛ん	刊化						
		選択ハ <b>ン</b> 員 業の成果が上		o o	貝	度高い		町内云が本事業を活用し活動に必要な哺品等を豊備することで、盛ん   な地域活動の実現につながると考えるが、助成団体数が最高3団体と							
目	指する	姿の実現に直	結してい	る	=			- 限られているため、貢献度は普通と判断する。							
か		D適切性			□ 貝\  □   □   □   □   □   □   □   □   □   □	度低い									
女		画、町民のニ	ブ 注	수	=-		*± 7	日日日間ではアプログス地安側に足のの「事業の歴日」に日気している。	2						
性が	に対し	って、意図が適				の余地がの余地が		+							
15.	,	は関与の必	要性		□ 検討		1301								
				_	===	の余地か		一め、町の関与が必須である。							
		が主体で取組 民参画の余均			=	の余地が									
成	果0	)向上余地			= -		<u>。 とが得られている</u>								
	• • • •	る成果を得ら		今	= -		き地がややある	数は最高3団体であり、成果の向上余地は限定的である。今のところ申							
後	期待 るか)	する成果をあり	げる余地	る余地が一成果の向上領				┩請した事業はすべて採択されており、期待されている成果が得られてい							
. +4		D適切性			√適切		(26/3 <i>3</i> / V)	ると判断する。    自治総合センターの実施要綱に定める「助成事業の実施主体」を本事業							
H		達成するうえ	で、現む				<b>、</b> いわある	の対象とし、適切に募集している。	3						
/性 对		定が最も有効: 象設定はない:		有	===	の余地か		-	)						
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の				√適切			- 自治総合センターの実施要綱に基づき実施するため、他に手段はない。							
					=		<b>でやある</b>	1,000							
	手段が最も有効か、他に有効な 手段はないか)				一 改善	の余地が	多い								
業	務0	D効率化				的である		自治総合センターの実施要綱において提出書類や手続の流れが決まっているより、既不禁変化できる合地が決し							
(業	養務手	務手順、関与職員人数につい ひ善の余地力				の余地か	ややある	ているため、町で効率化できる余地がない。							
		しの余地はないか) □ 改善の余地が			の余地が	多い	7								
効投	入_	入コストの適切性				である		自治総合センターの定める実施要綱に助成金の上限額が定められてお							
率 (接		した。 した は 適正か、削減				の余地が	ややある	]り、その範囲内での事業実施となっている。	3						
I		世はないか) ひ善の余地が					多い								
財	<b> </b> 源研	<b>全保の適切</b>	性		✓適切	である		本事業の財源はすべて宝くじの収入を原資とする特定財源であり、一般							
		負担は適正が	い、国、県	等	改善	の余地が	ややある	対源はない。また、補助対象外経費については各団体が負担している。							
0)1	無別₹	等はないか)				の余地が	-								
			0 -		妥当性	lo-		・検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)							
			0点	1;	点 2点	3点		1団体の交付金が決定し、令和6年度分では1団体の申請があった。  会長会議や町のホームページなどで本事業の積極的な活用を呼びかけ、ホ	部が						
		いずれか0点	d	C	C   C	С	あれば適切に		10///3						
分	有	いずれか1点	С	(	; c	С	1								
析	効性	0.2402 13/1	C	L	, .	C									
	· 効	合計4点	С	(	b	b									
検証	率性	合計5点	С	k	b b	а									
結果				k	a	а									
		a	業務ある	の内容は適切で											
			פינט												

3 /1	亚I (A)	~ I I O I	N) L).	J 1/I 1/K	<b>叫小</b>	ے ن	に07年度以降の対応方針を快割する」
				コストの	)方向性	ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後の	成果の	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
		0	成果	・費用	とも糸	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	□0!	5年度 実施計画事業					事務事業コー	* 09	903201
胃	事務事業名		福祉バス貸出事業	1	担当課	福祉課		担当係	:	福祉係
総体	総 体 施策		住民活動・地域交流の推進	予	会計		般会計			
合	200			算	款	03  民	生費			
総合 計画 系	取り組み方針	2_2	町民同士の交流を増やし、地域活動・住民活動 に参加するきっかけをつくる	科目	項	01 社会	会福祉費			
画系	は、これでの上のアフリルー	3-2	に参加するきっかけをつくる	Н	目	01 社会	会福祉総	務費		
根拠	见法令条例等	志免	町福祉バス事業実施要項	但	別計画					
実施	実施期間 □05		Dみ   単年度繰返 H 15 年度より開始	台		期間限定	(複数年)	年月	₹~	年度

### 1 計画·実施(PLAN·DO)

#### (1) 事務事業の目的と事業内容

		対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)					
事務事業	①対象 (誰を、何を)	⑦ 町民(要綱に合致する団体)	人	46,631	46,588	46,497					
事	(誰を、例を)	0									
			<b>₩</b> 145	4 T CD. V - I	マバコナ	1UM-z					
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	をどのような状									
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	調査・研究、見学等の目的地への移動手段としてバスの貸出を行う(費用町の執行機関、町の委員会・審議会、社会福祉協議会、町が補助する団体・運行業務を社会福祉協議会に委託・申請受付、審査、許可	:無料	、対象団体	本:議会、6	町内会、					

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	福祉バス利用可能日数	Λ.	日	目 標	359	360	359	100.0%
,	クシ	間位バスが用り配口数	I	Н	実 績	359	360		100.078
1	成果	福祉バス利用日数	<b>1</b>	日	目 標	40	80	90	132.5%
-1	以木	1曲1111八八代月日数	I	Ц	実 績	65	106		132.370
ウ	成果	福祉バス利用人数	<b>1</b>	,	目 標	400	1,200	1,600	160.1%
	N.A.	間にハスが元人数		人	実 績	1,020	1,921		100.176
ェ	成果	福祉バス稼働率(利用日数/利用可能日数)	<b>1</b>	%	目 標	20.0	20.0	25.0	147.0%
	以木	個性八人修製学(利用口数/利用り配口数)	ı	/0	実 績	18.1	29.4		147.076
<b>オ</b>					目 標				
٧,					実 績				
カ					目 標				
71					実 績				

#### (3) 総事業費の推移

	※四捨		京内訳(単位 り合計値が合わ	:千円) ないことがあります	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
事		特定	国·県支出	出金、地方債	0	0	0	0	
71	経	財源	その他	特定財源	0	0	0	0	
業			一般則	才源	3,979	4,078	4,078	4,164	
費	費		合計(		3,979	4,078	4,078	4,164	
頁		内	会計年度任用	用職員人件費)					
		正職	員人件費[按	分](B)	612	1,008	1,527	2,198	
		トーク	タルコスト(A	v)+(B)	4,591	5,086	5,605	6,362	
関	与職員	員数(単	单位:人)	正職員	0.08	0.13	0.18	0.26	

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
平成15年4月1日、事業開始。	年度末に新車両との入れ替えを行った。	自主的な活動を行っているスポーツ団体等から、レクリエーション等活動のための利用希望で問い合わせがある。

福祉バス貸出事業 事務事業名

2	分析	f·検証(Cl	HECK	()					
		評価の視点			_	項		評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
	-	施策への貢			貢献度	高い		福祉バスの貸出により、町内各種団体の活動が活発となるため、上位施 策の目指す姿の実現に結びついている。	
		事業の成果が」 す姿の実現に直			/ 貢献度	ふつう		東の日泊9安の夫児に和びついている。 -	
	か)		.,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		貢献度	低い			
4		の適切性			妥当で	ある		┃町内各種団体に利用してもらうことで、町民同士の交流を増やすことが ┃ ・ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	
当性	(総合) 等に対	計画、町民の二対して、意図が通	ーズ、法 動であ	令る	/検討の	余地が	ある	できるため妥当である。	2
	か)				=	余地が	多い		
	目冶	i体関与の必	要性	Ļ	□妥当で			バスの貸出運営ではなく、各団体活動への補助金交付等で補助する方 法もあり、民間を利用するという選択肢もあるため、必ずしも自治体が	
		体が主体で取組 住民参画の余り		Ŧ	<u> </u>  検討の			主体となって関与するべき事業とは言い切れない。	
			_		=	余地が			
		の向上余地			=		が得られている	要綱の改正により適切な体制を整え、町民に対して事業の周知を行って   いけば、利用が増える可能性がある。	
		する成果を得ら			=		地がややある	いけば、利用が増える可能圧がある。	
	あるか	-		Ļ	=		地が多い		
. 13		の適切性	- 10/1	Ĺ	適切で			利用団体や目的について、疑義を生じる申請が増えてきているため、要  網の対象者等ニーズにあうよう見直しを検討する必要がある。	
冲	対象認	を達成するうえ 役定が最も有効	か、他に	有し	」改善の				2
1 -		対象設定はない	か)	L		余地が	多い		
		の適切性	~ 18W		適切で		15 15 ± ¬	意図に対して、資質向上を目的とした研修等に参加するための移動手    段として無料で実施しているが、補助金交付等を行う手段もあり、最も	
	手段力	を達成するうえ が最も有効か、他	也に有効	。 に な に	」改善の			有効な手段とまではいえない。	
		はないか)		L		余地が	多い	   社会福祉協議会に委託することで効率的に運営できている。	
				F	/ 効率的		la la + →	社会価性励機会に安記することで効率はに建名できている。	
		手順、関与職員 直しの余地はなり		on F		赤地が	ややある タム	-	
÷+	投入	コストの適切	刀件		一成番の一人適切で	.,	3/11	L  職員が従事する事務は、契約、支払い、予約が重なった際の抽選事務、	
効率				朣			 ややある	審査許可事務のみのため、人件費の削減はできない。	2
	(投入 の余地	.するコストは適 也はないか)	止か、削			余地が		1	_
ŀ	財源	確保の適切	性		一適切で		301	■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■ ■	
		者負担は適正な	-	<u></u>	一改善の		<b>ややある</b>	料費等一部受益者負担とするなど検討する余地がある。	
	の補助	有貝担は過止だ 助等はないか)	八四、元	* F	=	余地が		1	
-				妥	当性	73. 0,7		検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
			0点	1点	2点	3点	令和5年度は	令和2年度~令和4年度に比べて、申し込みが増加している。要綱の目的に	該当
		いずれか0点	d	С	С	С		必要な利用団体、利用目的の申請があり、協議をする必要が生じた。	m <del></del>
	<sub>+</sub>		u		+			を検討するにあたって、民間業者等へのヒアリングを行ったが、車両の管理 足等により、継続して委託検討可能な民間業者は見つからなかった。	十二
5	<b>  本文性</b>	り いずれか1点	С	С	С	С	今後、事業の国	と呼になり、心臓がして安むはあった。 目的に沿った実施のために、受益者(実費)負担を含めた要綱の見直しの検	討が
析	「性	生 ・ 合計4点	С	С	b	b	必要である。		
楨	交叉	功				.~			
証紹		合計5点	С	b	b	a			
牙		合計6点	С	b	а	а			
		b			しあり 直しが				

3 /1	亚I (A)	~ I I O I	N) L).	J 1/I 1/K	<b>叫小</b>	ے ن	に07年度以降の対応方針を快割する」
				コストの	)方向性	ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後の	成果の	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
		0	成果	・費用	とも糸	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報		□05	5年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業				事務事業コード	0903202
事務事業名				シーメイトイベント開催事業	1	担当課福祉課		担当係	福祉施設係
総体	14	施策	03	住民活動・地域交流の推進	予	会計	01 一般会計		
合	,,,,	вж	03		算	款	03 民生費		
総合計画系	田口(1幺)	且み方針	2 2	町民同士の交流を増やし、地域活動・住民活動 に参加するきっかけをつくる	科目	項	01 社会福祉費	}	
画系	4人 7 市	日のアノコルト	5	に参加するきっかけをつくる	Ħ	Ш	05 総合福祉施	設管理費	
根挑	见法令组	条例等			個	別計画			
実施	期間	<u></u> 05	年度0	Dみ ✓ 単年度繰返 H 16 年度より開	冶		期間限定(複数年)	年度~	~   年度

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

(1)	<del>ず切ず未</del> ッロって <del>ず未</del> に					
		対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
事	①対象	⑦ 町民(及び町外利用者)	人	46,631	46,588	46,497
事務事業	【(誰を、何を)	0				
業		(b)				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・町民同士の交流が増える				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	福祉講演会や歌のアルバム、コンサート、ダンスステージ、工作教室、料理 行う ・イベント企画、広報、準備、運営、後片付け (令和5年度 主催するイベントの開催はなかった。)	教室等	いイベン	トの開催	支援を

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	イベント開催数	<b>1</b>		目 標	0	-	0	
	刀到	「ハント所住奴	ļ	П	実 績	0	0		
1	成果	イベント参加者及び来場者数	<b>1</b>	,	目標	0	-	0	
-1	以木	「ハント参加有及し木物有数	l	人	実 績	0	0		
ウ					目 標				
,					実 績				
エ					目 標				
					実 績				
才					目 標				
					実 績				
力					目 標				
71					実 績				

#### (3)総事業費の推移

			原内訳(単位		04年度	05年度	05年度	06年度	07年度
	※四捨	話入によ	り合計値が合わ	ないことがあります	(決算値)	(当初予算)	(決算値)	(当初予算)	(計画)
事		特定		出金、地方債	0	0	0	0	
	経	財源	その他	特定財源	0	60	0	0	
業			一般則	才源	1	259	1	0	
典	費		合計(	A)	1	319	1	0	
費		(内:	会計年度任用	用職員人件費)					
		正職	員人件費[按	分](B)	306	388	424	0	
		トーク	タルコスト(A	v)+(B)	307	707	425	0	
関	関与職員数(単位:人) 正職員				0.04	0.05	0.05	0.00	

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
16年5月、「こどもまつり」を企画した。その後シーメイト倶楽部の発足に伴い、フリーマーケットを企画。さらに、フリーマーケットに合わせてコンサート等のイベントを開催するようになった。	開館当初よりシーメイト主催のイベントを 行っていたが、令和元年度からは、コロナ禍	(利用者・参加者) 令和元年度より事業を行っていないため、 無し。

事務事業名シーメイトイベント開催事業

2 分析・検証(CHECK)

		r・検証(Cl 評価の狙		() 		τZ	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	和中
		評価の視点施策への貢					性	計価格素の判断理由及び課題認識、課題に対する対応束 シーメイトでイベントが開催されることは住民活動・地域交流の推進に繋	判定
		ルスパン貝 事業の成果が」			=	度高い		プースイトでイパントが開催されることは住民治動・地域文派の推進に案   がっている。	
E	目指す	事業の成未が」 「姿の実現に直	L位肥泉 結してい	いる	=	度ふつう			
<u> </u>	)\) <del>≐</del> .	小学出件			=	度低い		ここ メノニスのノバン しがたロばも 地げ立体の担いかっている	
女		の適切性		_	☑ 妥当			シーメイトでのイベントが住民活動・地域交流の場となっている。	_
		計画、町民の二 けして、意図が通			=-	の余地が			1
カ	(۱ر				=	の余地が	多い		
	11治	体関与の必	要性		妥当	である		限られたイベント参加者の要望に基づいてシーメイトが主催するのでは なく、多様な参加者による住民主体型のイベントづくりをサポートする	
		体が主体で取締			□検討	の余地が	ある	なく、多様な参加省による住民主体型のイベンドラくりをサポードする     形へ移行することが必要。	
		住民参画の余り	_	(יתי	☑検討	の余地が	多い		
J.	成果(	の向上余地	ļ		□期待	する成果	が得られている	主催するイベントの開催はなかった。	
		する成果を得ら			□成果	の向上余	(地がややある		
	あるか		1) ठाउँम	ינופ	☑成果	の向上弁	(地が多い		
有文	付象(	の適切性			☑適切	である		全町民を対象としており適切である。	
効り	意図る	を達成するうえ と定が最も有効	で、現れ	め	□改善	の余地が	ややある	]	1
		徒定が最も有効 対象設定はない		. 作	□改善	の余地が	多い	]	
目	手段(	の適切性			□ 適切	である		主催イベントだけではなく、住民団体等が行う様々なイベントの開催を	
<u>(j</u>	意図る	を達成するうえ	で、現れ	やの	☑改善	の余地が	ややある	サポートすることで来館者の交流を増やすことが期待できる。	
	手段が最も有効か、他に有効な 手段はないか)			な	□改善	の余地が	<b>多</b> い	1	
美	業務の	の効率化				的である		主催イベントを補佐していたシーメイト倶楽部の解散等もあり、現状の職	
( 1	業務	手順、関与職員	人数に-	21.1		の余地が	ややある	員数で主催イベントの企画運営を行うことは困難である。	
		しの余地はな			7 改善	の余地が	多い		
効 *	殳入.	コストの適t	刃性			である		住民主体型のイベントづくりを行うことで、コストの削減は可能である。	
率(	40.7.7	するコストは適	i 正か 当	l≀et	7 改善	の余地が	ややある	1	1
	り余地	はないか)	TT/3 ( 15:	1/19/4	=-	の余地が			•
貝		確保の適切	性		適切			費用の一部については適正な受益者負担を求める必要がある。	
(;	四+-	者負担は適正な	v 🖃 IE	生	=	の余地が	 ややある		
		音気造は過止/ )等はないか)	л. <b>(</b> В. 7	<del>( 1)</del>	=	の余地が			
				- 4				検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
			0点	1,5	点 2点	i 3点		シーメイト主催イベントは無く令和6年度以降の事務事業は、廃止となった。	,
		いずれか0点	d	_					
		いりれかり点	a	С	: C	С			
分	有效		С		:	l c			
析	性	<b>Ė</b>							
•	対	, │合計4点	С	C	;   b	b			
検証			С	b	b	а			
結	'-			Ľ		u			
果		合計6点	С	b	a	a			
		С			るくあり は見直し				

3 /3	単一(ハ		V) L).	או ווויל			に07年長以降の対心力針を快討する」
			-	コストの	)方向性	ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の	維持		Е	D		
今後の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	_	_	廃止	済			

[福岡県志免町]

基本性	青報	0	5年度 実施計画事業	Ė			事務事業コー	-F	1503201
III.	事務事業名		成人式開催事業		担当課	社会教育詞	里 担当係	,	社会教育係
総合計画系	施策	03	住民活動・地域交流の推進	予算	会計	01			
計画系	取り組み方針	3-2	町民同士の交流を増やし、地域活動・住民活動 に参加するきっかけをつくる	4.1	項目	05			
根挑	処法令条例等			1	固別計画				
実施	期間 🗆 🗆 05	年度0	のみ ☑ 単年度繰返 不明 年度より開	始		期間限定(複数	(年) 年	度~	年度

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

(1)	事物争未の日的と争未ら												
		対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)							
事	① <b>対象</b>	⑦ 新成人者	人	533	492	500							
事務事業	(誰を、何を)	0											
業		(b)											
の目的	②意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	・大人としての自覚意識が向上する ②意図 (対象をどのような状											
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	成人記念式典「はたちのつどい」の開催を行う(式の企画運営は、はたちでい、毎年1月の第2日曜日に実施) ・はたちのつどい運営委員(新成人)による会議の開催 ・成人記念式典「はたちのつどい」案内状作成(行政用と新成人用) ・成人記念式典「はたちのつどい」開催補助	かつど	い運営委	員(新成 <i>)</i>	人)が行							

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	成人式開催数	<b></b>		目標	2	2	2	100.0%
,	71 377	1947 (24)/13 (E3X)	'	Ι	実 績	2	2		100.070
1	活動	成人式運営委員会開催数	<b>1</b>		目標	4	4	4	100.0%
1	/口到	以八八足百女兵云州征奴	'	띡	実 績	4	4		100.070
ゥ	成果	成人式参加者数	<b>&gt;</b>	,	目 標	350	350	350	102.3%
	以木		'	人	実 績	357	358		102.5%
エ					目 標				
					実 績				
才					目 標				
7]					実 績				
力					目 標				
71					実 績				

#### (3)総事業費の推移

		財源内訳(単位:	千円)	04年度	05年度	05年度	06年度	07年度
	※四捨	五入により合計値が合われる	ないことがあります	(決算値)	(当初予算)	(決算値)	(当初予算)	(計画)
事		特定国·県支出	出金、地方債	0	0	0	0	
7	経	財源 その他	特定財源	0	0	0	0	
業		一般則	掠	631	2,432	1,421	2,376	
#	費	合計(	A)	631	2,432	1,421	2,376	
費		(内 会計年度任用	用職員人件費)					
		正職員人件費[按	分](B)	3,217	3,174	3,416	4,054	
		トータルコスト(A	)+(B)	3,848	5,606	4,837	6,430	
関	与職員	員数(単位:人)	正職員	0.42	0.41	0.41	0.46	

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
現在の成人式は1946年、埼玉県北足立郡 蕨町において実施された「青年祭」がルーツ となっているといわれている。 本町での開始時期は明確ではないが、保管 がある最も古い昭和44年(1969年)の広 報には成人式の記事が掲載されている。	を実施した。その結果、県内及び近隣市町並 びに成年対象者の生活状況(時期)等を考慮	(新成人)運営委員が主体となり役割等を 担っているため出席者から好評である。 (来賓等)運営委員企画の内容を検討し、新 しい方法等を取り入れているため、今までよ りも良くなったとの意見がある。

事務事業名 成人式開催事業

2 分析・検証(CHECK)

<u> </u>		·検証(Ch	_	()			τÆ		・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	기계스							
		平価の視点					項	H	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定							
		を				貢献度			成人記念式典を行うことは、新成人の大人としての自覚や地域に愛着 を持つ良い機会になり、上位施策への貢献度は高い。								
(事	『務事 指する	「業の成果が」 姿の実現に直	と位施策 結してし	のいる		貢献度	ふつう		で付し及い成立になり、工世心界への負制反は同い。								
か)	)		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	Ū		貢献度	低い										
妥総	図(	D適切性			√  √  √  √  √  √  √  √  √  √  √  √  √	妥当で	ある		成人になったことを自覚する成人式は、町民からのニーズも高く、町民								
		画、町民の二 って、意図が通			□₺	検討の	余地が	ある	同士の交流を増やし、地域活動や住民活動に参加するきっかけづくりと  しては適切である。	3							
性かり		ノて、思因が定	₫ 9J C 0J	8		検討の	余地が	多い									
自	治位	*関与の必	要性		√ <del>}</del>	妥当で	ある		成人記念式典該当者への案内状送付は個人情報の取り扱いになるの								
(自	自治体	が主体で取約	且むべき	事		検討の	余地が	ある	で、自治体が行う必要がある。								
業	か、信	民参画の余り	也はない	か)		検討の	余地が	多い									
成	果の	D向上余地			√ j	期待す	る成果	が得られている	目標参加者数を超えており、期待する成果が得られている。								
		る成果を得ら				成果の	向上余	地がややある									
	期待 るか)	する成果をあ	ける余地	か	Пл	成果の	向上余	:地が多い									
		D適切性			=	適切で			大人としての自覚意識を芽生えさせるために、新成人のみを対象に	1							
効 (意	意図を	達成するうえ	で、現物	やの		改善の	余地が	ややある	行っており、対象は適切である。民法改正後の事業についても、対象は	3							
/性   对 :		定が最も有効 象設定はない		有		改善の	余地が	多い	<b>−</b> 新二十歳を対象とする。	•							
		D適切性				適切で			新成人対象者を自治体で絞り込み、直接招待状を郵送し招待している	1							
(意	意図を達成するうえで、現状の 一 改善の余地がややあ				改善の	余地が	ややある	ため、最も有効な手段である。									
	手段が最も有効か、他に有効な 手段はないか)		=		余地が												
	業務の効率化  ②効率的である								はたちのつどい運営委員や社会教育課職員など必要最低限の人員で								
/ <del>*</del>	(業務手順、関与職員人数につい)				<b>ややあろ</b>	行っている。											
	(業務手順、関与職員人数につい   □」以告の示地が176の3 て見直しの余地はないか) □ 改善の余地が多い			7													
効投	汉:	コストの適ち	 辺性		_	商切で			事業内容を見直し必要最低限のコストで実施している。これ以上の削減	i							
527	_ 	るコストは適	工办 出	R⊨t	=	_ // `		ややある	は式典運営に影響を及ぼすとともに、参加者の減少等に繋がる恐れが	3							
性の	余地	るコストは週 まないか)	.正刀、F!	1/19%			余地が		あるため削減の余地はない。	~							
財	惊	催保の適切	性		=	適切で		<i>y</i> v ·	  国や県等の活用できる補助等はない。								
/35	z ++ ±	負担は適正な	.— ,,	200				 ややある									
		貝担は週上ん 等はないか)	八四、牙	₹			余地が		1								
					妥当		.3. 0/3		I 検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)								
			0点	1,		2点	3点		牧修のため、各中学校区での開催となったため、例年と比べて準備に時間	が掛							
		レギャャット						かった。また、	新成人による運営委員会では、役割決めや企画の準備、会議以外でも積極	的に							
		いずれか0点	d	(	-	С	С		し合いの場を設けて全員で協力しながら進めていた。式当日の企画(思い)								
分	有効	いずれか1点	С			C	С	スライドンヨー たと思われる。	・上映)では、会場全体で盛り上がることができ、新成人にとって良い式典に	こなつ							
析	性							72 - 18171 000									
•	· 効	合計4点	С			b	b										
検証	率件	合計5点	С	k	$\overline{}$	b	а										
結	性	ппом	C	<u> </u>	4	D	u										
果		合計6点	С	k	)	a	a										
	a 業務の ある					は適	切で										

3 /1	亚I (A)	~ I I O I	N) L).	J 1/I 1/K	<b>叫小</b>	ے ن	に07年度以降の対応方針を快割する」
				コストの	)方向性	ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後の	成果の	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
		0	成果	・費用	とも糸	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	<b>√</b> 05	5年度 実施計画事業 🗌総	合戦略該当事業					事務事業コード	1503202
Ę	<b>事務事業名</b>		地域公民館活動支援事	<u>‡</u>	旦当課	社	会教育課	担当係	社会教育係	
総体合	施策	03	住民活動・地域交流の推進		予算	会計款	01	一般会計 教育費		
総合計画系	取り組み方針	3-2	町民同士の交流を増やし、地域流 に参加するきっかけをつくる	舌動·住民活動	科目	項目	05 02	社会教育費 公民館費		
根挑	见法令条例等	志免	可公民館活動事業費補助金交付要	更綱	個	別計画				
実施	期間 □05	年度(	○み ②単年度繰返 不	「明 年度より開始	ì		期間阻	マスタス (複数年)	年度 <sup>~</sup>	~   年度

### 1 計画·実施(PLAN·DO)

### (1) 事務事業の目的と事業内容

_		対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)				
事務事業	①対象	⑦ 地域公民館	施設	30	30	30				
	(誰を、何を)	(d)								
		(b)								
の目的	・活動が活発に行われる									
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	自治公民館が行う教育、学術及び文化に関する各種の事業、活動の支援 ・補助金の交付事務(公民館活動費、公民館主事会連絡協議会活動費、通 ・謝礼金の支払事務(公民館長、公民館主事) ・公民館長会議の開催(毎月1回) ・公民館主事会議への参加								

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	公民館活動費補助金額	<b>1</b>	千円	目 標	11,460	11,460	11,460	99.5%
,	口到	公民協力到其間功业協	I	111	実 績	11,300	11,400		99.370
1	活動	公民館長会議開催数	<b>1</b>	回	目標	3	3	3	100.0%
1	クシ	<b>公以防攻公</b> 城州底数	ļ		実 績	3	3		100.070
ゥ	活動	公民館主事会議参加数	<b>1</b>		目 標	7	3	3	33.3%
	口到	公民的工事公 <b>成</b> 多加致	I	ы	実 績	1	1		33.370
ェ	成果	公民館運営助成金を活用した公民館数	<b>1</b>	事業	目標	30	30	30	100.0%
	PX. <del>X</del>	ム以前建古列以並を石用したム以前数	Į.	尹木	実 績	30	30		100.070
才					目標				
7]					実 績	·			
カ					目 標				
71					実 績				

#### (3)総事業費の推移

		財源	原内訳(単位	:千円)	04年度	05年度	05年度	06年度	07年度
	※四捨	五入によ	り合計値が合わ	ないことがあります	(決算値)	(当初予算)	(決算値)	(当初予算)	(計画)
事		特定	国·県支出	出金、地方債	0	0	0	0	
	経	財源	その他	特定財源	0	0	0	0	
業		一般財源			13,302	13,527	13,267	13,529	
費	費	合計(A)			13,302	13,527	13,267	13,529	13,527
貝		(内:	会計年度任用	用職員人件費)					
		正職	員人件費[按	分](B)	2,599	3,254	2,917	3,081	
		トータルコスト(A)+(B)			15,901	16,781	16,184	16,610	
関	関与職員数(単位:人) 正職員				0.34	0.42	0.35	0.35	

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
昭和35年、志免町行政区設置に関する規程が始まった時期だと思われる。	的な活動を行うところである。	地域住民から、「公民館をいつでも使えるようにしてほしい。」との意見がある。また、人口割合で各町内会で差が出てきているとの意見がある。

2	分析	f·検証(Cl	HECK	()												
		評価の視点				項	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定							
	上位	施策への貢	献度		貢献度	高い		補助金の交付や各会議を通して公民館活動を支援し、活動が活発に行								
		事業の成果が」 す姿の実現に直			貢献度	ふつう		]われることは、町民同士の盛んな交流や住民自治の実現につながる。								
	か)		IND CV		貢献度	低い										
玄		の適切性			2 妥当で	ある		公民館活動が活発に行われることが、住民活動や地域交流につながる。	_							
当		計画、町民の二 対して、意図が通			一検討の	余地が	ある		2							
性					]検討の	余地が	多い	ᆘᆉᄼᄆᇆᅡᆫᆓᄼᄼᄼᇄᅟᄼᅑᇄᆉᄭᄆᅉᅜᄘᅶᅑᄀᅑᇉᇨᇧᅩᅩᅺ								
	自治	体関与の必	要性	Ŀ	2 妥当で	ある		地域住民によって自主的・自発的な公民館活動が活発に行われるため に、補助金の交付や各会議の開催など行政の関与は必要である。								
		体が主体で取締				余地が		に、補助並の文刊で行去議の開催など11以の因子は必安である。 								
		住民参画の余地	_	<i>(</i> )	=	余地が										
		の向上余地			=		が得られている	新型コロナウイルス感染症の位置づけが、令和5年5月8日から「5類感染症」になったことにより、徐々に以前のような活動を可能な限り行う								
		する成果を得ら 寺する成果をあ					地がややある	公民館もあった。								
	あるた	-				地が多い										
Ή		の適切性	- 10/1		/ 適切で			要綱で対象が規定されているため。								
冲	対象記	意図を達成するうえで、現状の 象設定が最も有効か、他に有							2							
II		対象設定はない	か)	L	」改善の		多い	は中央の六分の名誉の関係など理学の毛のが大効った?								
	手段の適切性 (意図を達成するうえで、現状の		✓ 適切である   ○ 改善の余地がややある			15 15 ± ¬	補助金の交付や各会議の開催など現状の手段が有効である。									
	手段加	が最も有効か、他	しに有効	。 よ												
		<sup>まないか)</sup> の効率化			=	余地が	多い	  現状最低限の人数で対応しており、見直しの余地はない。								
				F	/ 効率的		14h+7	水(水)   水(水)								
		≶手順、関与職員 直しの余地はなり		2い  -		赤地が	ややある									
*+	投入	、コストの適切	71件		一適切で	.,	301	  各公民館において公民館活動を行う上で、補助金を有効に活用されて								
効率				F			 ややある	いるため。	3							
	の余り	、するコストは適 也はないか)	止か、削		改善の											
	財源	確保の適切	性		が適切で		<i>y</i> v.	国、県等の補助金は特にない。								
	(妥益	者負担は適正な	小国但	F			ややある									
	の補助	助等はないか)	,	```   <del>-</del>	   改善の	余地が	多い									
				妥	当性		分析·	・ 検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)								
			0点	1点	2点	3点	新型コロナウィ	「ルス感染症の位置づけが、令和5年5月8日から「5類感染症」になったこ	とに							
		いずれか0点	d	С	С	С		は徐々に以前のような活動を可能な限り行う公民館もあった。 - 禍前にように活発に公民館活動ができるように、各公民館への助言や支	<b>坚</b> た							
	7	<u> </u>	Ğ		+ -		行っていきたい		反で							
5		有 め いずれか1点 生	С	С	С	С	13 2 27 272	•								
机		生 ・ 合計4点	С	С	b	b										
核		功		C		٥										
訂新	E Å	车 合計5点	С	b	b	а										
月		合計6点	С	b	а	а										
		b			しあり 直しが											

つ ナイト/(ACTION) 「分析・検証結甲をキンに07年度以降の対応方針を検討する】

3 万	<b>對(A</b> )	<u> </u>	N) L7.	がけ・快	訨結果	をもと	に07年度以降の対応方針を検討する」
				コストの	方向性	ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		C	В	Α	
今後の	成果の	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	[	)	成果	•費用	とも終	辪	

[福岡県志免町]

							Ē			
基本	青報	0	5年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業					事務事業コード	15032	:03
II.	事務事業名		地域公民館維持管理支援事業		担当課	社会教育課		担当係	社会教育	<b></b>
			T	1	\I	0.1	6π. Λ = I			
総体	施策	ΛS	住民活動・地域交流の推進	予	会計	01	一般会計			
合	ルビス	03	正以/日勤/ 近域文////   7月世年	算	款	10	教育費			
総合計画系	取り組み方針	2	町民同士の交流を増やし、地域活動・住民活動 に参加するきっかけをつくる	科目	項	05	社会教育費			
画 糸	「私の祖のカカ東」	5-2	に参加するきっかけをつくる	日	目	02	公民館費			
根拠法令条例等				個	固別計画					
実施期間 □0!		年度(	Dみ ✓ 単年度繰返 H 16 年度より開	冶		期間	マスタス (複数年)	年度 <sup>2</sup>	~ 年	度

# 1 計画・実施(PLAN・DO) (1)事務事業の目的と事業内容

	子が子木の口 ひこ 子木 こ										
		対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)					
事	①対象	⑦ 地域公民館	施設	30	30	30					
事務事業	(誰を、何を)	0									
業		(b)									
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・安全で快適に利用できる         ②意図         (対象をどのような状									
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	地域公民館の建物の維持管理と公民館で実施する維持管理の支援を行・外部及び屋根部分等の補修工事(調査によるランク付けし、計画的に実・内部の改修等は各公民館へ補助金の交付									

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	補修工事実施箇所数	<b>1</b>	箇所	目 標	10			150.0%
	刀到		ı	四/7	実 績	17	15		150.070
1	活動	補修工事計画施設数	<b>1</b>	施設	目 標	2	2	3	100.0%
1	クロまり		'	儿巴口又	実 績	2	2		100.076
ウ	活動	内部改修等補助金交付件数	<b>1</b>	件	目 標	2	2	2	100.0%
	クシ		I	П	実 績	1	2		100.076
エ	成果	  補修工事計画施設の工事実施率	<b>1</b>	%	目 標	100	100	100	100.0%
	N.A.		ı	/0	実 績	100	100		100.076
<b>オ</b>	成果	   内部改修等補助金額	<b>1</b>	千円	目 標	1,000	1,000	1,000	68.2%
~1	N.A.		'	117	実 績	518	682		00.270
カ					目 標				
73					実 績				

#### (3) 総事業費の推移

	∨m+&		京内訳(単位	:千円) ないことがあります	04年度	05年度	05年度	06年度	07年度
	※四指	五人によ	の合計値か合わ	ないことかあります	(決算値)	(当初予算)	(決算値)	(当初予算)	(計画)
事		特定		出金、地方債	0	0	0	0	
	経	財源	その他	特定財源	324	201	382	401	
業			一般財源		6,151	9,307	8,231	15,452	
費	費		合計(		6,475	9,508	8,613	15,853	
貝		(内:	会計年度任用	用職員人件費)					
		正職	員人件費[按	汾](B)	3,142	3,103	3,340	3,524	
		トーク	トータルコスト(A)+(B)		9,617	12,611	11,953	19,377	
関	与職員	員数(単	单位:人)	正職員	0.41	0.40	0.40	0.40	

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
築30年を経過した地域公民館があり、雨漏		公民館長等から多数の改修要望が上がって
りなど老朽化が激しく、平成15年度に全公	なっている。耐震診断の追加	くる。
民館を調査し、年次計画を立て、平成16年  度から屋根、外部等の補修工事を行う。		

2	分村		証(Ch		()										
			の視点				項		評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定					
	上位	<b>江施策</b>	への貢	献度	[·	] 貢献度	高い		地域住民の活動拠点となる公民館を安全で快適に利用できる状態にす						
			)成果が上 実現に直続			貢献度	きふつう		<b> ることは、町民同士の盛んな交流や住民自治の実現につながっている。 </b>						
	か)	9 5075	大坑に巨	id C C C		貢献度	延低い しょうしん								
妥	意図	の適	切性		Ĺ	2 妥当で	ある		総合計画にある、町民同士の交流を増やし、地域活動・住民活動に参加						
当			町民の二			一検討の	余地が	ある	するきっかけをつくるために、地域の活動拠点となる公民館を安全で快 適に利用できる状態にすることは重要であるため。	3					
性	寺(こ) か)	XJU C.	意図が適	<b>担切でめ</b> 1		検討の	余地が	多い	週に利用できる休息にすることは里安であるだめ。						
	自治	体関·	与の必	要性	Į,	2 妥当で	ある		志免町において公民館は公共施設として捉えており、町が維持管理及						
	(自治	体が主	体で取組	むべき!	<sub>\$</sub>	]検討の	余地が	ある	びその支援を行うことは妥当である。						
	業か、	、住民参	画の余地	也はない	か)	]検討の	余地が	多い							
	成果	見の向.	上余地		[·	/ 期待す	る成果	が得られている	必要な補修工事は予算の範囲内で行っているため。						
			果を得ら			成果の	向上余	地がややある							
	を ある が		以来をの	ノる赤地		成果の	向上余	地が多い							
有	対象	での適	切性		[·	適切で	ある		対象を地域公民館にすることが最も有効である。						
効			するうえ 最も有効:		<b>た</b>	改善の	余地が	ややある		3					
性	対象が効なが	設定が 対象設定	最も有効に	か、他に か)	† [	改善の	余地が	多い							
	手段	の適	切性		[·	/ 適切で	ある		町で行う維持管理、各公民館(地域)で行う維持管理と区別して行って						
	(意図	を達成が果まる	するうえ 有効か、他	で、現状	to [	〕改善の	余地が	ややある	おり適切である。						
		はないが		RIC.H XII	~ [	改善の	余地が	多い							
	業務	の効	率化		[·	/ 効率的	]である		現状最低限の人数で対応しており、見直しの余地はない。						
	(業務	<b>手順、</b> 同	関与職員	人数につ	ou [	改善の	余地が	ややある							
	て見i	直しの名	余地はなし	ハか)		改善の	余地が	多い							
効	投入	、コスト	トの適切	刀性		適切で	ある		町の財政状況にもよるが、補助率等見直しの余地はある。						
率	(投入	、するコ	ストは適	正か、削	減	ひ善の	余地が	ややある		2					
性	の余り	地はない	いか)			〕改善の	余地が	多い							
	財源	確保	の適切	性	,	/ 適切で	ある		国、県等の補助金は特にない。						
			は適正か	、国、県	·等 [	改善の	余地が	ややある							
	の補具	助等はな	ないか)			改善の	余地が	多い							
					妥	当性			検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)						
				0点	1点	2点	3点	今年度も公民的	館の維持管理に努めたが、公共施設個別施設計画による公民館の長寿命(	战。					
		いす	げれか0点	d	С	С	С	修工事も順次を精査する必要	行っていくため、通常の維持管理のための補修工事や補助金等についても 悪がある	内谷					
	, ,	有						と相互するが	Ø11·00 Ø6						
1 2		有 効 性	げれか1点	С	С	С	С								
1	斤 •	任・合	計4点	С	С	b	b								
木	食 3	効	P1 17		Ü	~	~								
1 8	ΙĒ Í	率 合	計5点	С	b	b	a								
并	洁			b	а	а									
		ã	Э	業務ある	の内	容は適	i切で								

3 /1	亚I (A)	~ I I O I	N) L).	J 1/I 1/K	<b>叫小</b>	ے ن	に07年度以降の対応方針を快割する」
				コストの	)方向性	ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後の	成果の	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
		0	成果	・費用	とも糸	辪	

[福岡県志免町]

基本情	青報	<u></u> 05	5年度 実施計画事業					事務事業コード	1503204
事	<b>下務事業名</b>		町民大運動会開催事業	ŧ	旦当課 社会教育課		担当係	スポーツ振興係	
総合計画系	施策	03	住民活動・地域交流の推進	予算	会計 款	01 10	一般会計 教育費		
計画系	取り組み方針	3-2	町民同士の交流を増やし、地域活動・住民活動に参加するきっかけをつくる	科目	項 目	06 02	保健体育費 体育振興費		
根拠	见法令条例等			個	別計画				
実施	期間 🔲 05	年度0	Dみ ②単年度繰返 S 37 年度より開始	4		期間限	定(複数年)	年度·	~   年度

### 1 計画·実施(PLAN·DO)

#### (1) 事務事業の目的と事業内容

		対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)					
事	①対象 (=# # # # # X   X   X   X   X   X   X   X	⑦町民	人	46,631	46,588	46,497					
事務事業	(誰を、何を)	0									
業		9									
の目的	②意図 (対象をどのような状 態にしたいか)	・町民同士の親睦が深まる									
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	町民大運動会の開催を行う(毎年10月第2日曜日に実施) ・競技種目の検討、公民館部長への説明と各競技の抽選 ・広報、プログラム作成、備品確認と賞品購入、会場設営や清掃、 ・前日準備、当日競技運営、後片付け、次年度に向けた協議	警備業者との	委託契約							
台		F	ラシ折込含む	)							

(2)指標達成状況

(2/)	引示连以1	<b>人ル</b> し								
	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位	·	04年度	0	5年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	公民館体育部長会議開催数	<b>1</b>		目 標	3		0	0	
,	一位到	公氏矩体自即反云識用准数	l		実 績	0		0		
1	活動	運動会開催数	Λ	回	目 標	1		0	0	
1	一位到	( <b>建</b> 到云阴惟奴		삗	実 績	0		0		
ゥ	活動	広報、ホームページ掲載回数	<b>A</b>	回	目 標	4		4	5	125.0%
.,	一位到	仏報、ハームハーク掲載四数	l		実 績	0		5		125.0%
I	出田	競技参加者数	<b>A</b>	1	目 標	3,000		1,000	1,000	62.5%
	成果	祝汉多加 <b>有</b> 数	l	人	実 績	未開催		625		02.5%
才	成果	参加した公民館数	<b>1</b>	団体	目 標	30		-	-	
7)	以未	参加した公民的数		四个	実 績	未開催		-		
カ	活動	フポーソフェフタ関係同数	<b>^</b>	回	目 標	-		1	1	100.0%
71	一一到	スポーツフェスタ開催回数		ഥ	実 績	-		1		100.0%

#### (3)総事業費の推移

	※四捨		京内訳(単位 り合計値が合わ	:千円) ないことがあります	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
事		特定	国·県支出	出金、地方債	0	0	0	=	
71	経	財源	その他	特定財源	0	1,108	0	-	
業			一般則	才源	413	2,473	2,139	2,139 -	
費	費		合計(		413	3,581	2,139	1	
貝		(内:	会計年度任用	用職員人件費)				-	
		正職	員人件費[按	分](B)	1,608	2,872	4,923	-	
		トーク	トータルコスト(A)+(B)		2,021	6,453	7,062	-	
関	与職員	員数(単	单位:人)	正職員	0.21	0.37	0.59	_	

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
令和4年度に町民の誰もがスポーツに触れ合う機会づくりのために開催を決定し、令和5年度に第1回を開催する運びとなった。	参加公民館が計30公民館になり、会場として中央小学校グラウンド、周辺駐車場及び休息場所として町民体育館・小学校体育館を使用しているが、すでに会場が手狭となっていて。 新型コロナウイルス感染症の拡大により、令和2年度から町民大運動会が中止されノウハウを引き継げなかったことで、町内会の中には参加が難しいとの声もあった。町としては、町民大運動会を廃止し、新たにスポーツフェスタを開催することを決定した。	フェスタの中で交流の機会を創出する内容

事務事業名 町民大運動会開催事業

2	分析	·検証(Cl	HECK	()											
		評価の視点					項	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定					
		施策への貢			7	貢献度	高い		町民がスポーツやレクリエーションに親しみやすい環境づくりに取り組						
		事業の成果が」 ・姿の実現に直				貢献度	ふつう		むことは、上位施策の実現されているまちづくりに直結する。						
	か)		ημO C V	. 0		貢献度	低い								
4		の適切性			>	妥当で	ある		スポーツの普及や振興につながる機会を提供することで、町民同士が 学びあい、高めあうまちづくりに近づける。						
当性	(総合言 等に対	計画、町民の二 して、意図が通	ーズ、法 勧切であ	令る		検討の	余地が	ある	子びのい、高めのフまらしくりに辿しける。	3					
	か)			•		検討の	余地が	多い							
	自治	体関与の必	要性		\ \ 	妥当で	ある		行政が、施策目標を達成するため推進すべき事業である。						
		本が主体で取組			=		余地が								
		住民参画の余り		(ינו	Щ		余地が								
		の向上余地			j			が得られている	令和5年度のスポーツフェスタは、雨天に見舞われたため、参加者数が   予想を下回った。また、予定していた内容を十分に実施できなかった。						
		する成果を得ら する成果をあ						地がややある	- 内容を見直し、参加者のスポーツへの関心を高められるよう検討を行っ						
-	あるか							地が多い	ていく。						
. 13		の適切性			ĺ	適切で			全町民が対象のため、適切である。	2					
州	対象設	を達成するうえ 定が最も有効	か、他に	有				ややある		2					
		象設定はない	か)		Ш		余地が	多い	   スポーツフェスタという形で開催し、全町民が自由に参加できるようにした。一部、事前に						
		の適切性	~ IB\	24		適切で		15 15 ± ¬	申請してもらうものもあるが、来場して興味のあるものにチャレンジできる。入口のハード						
	手段が	を達成するうえ 、最も有効か、他	しに有効	な				ややある	】ルを低くして、どなたにも意欲を深めてもらえていると考えるため、適切である。 						
		ないか) の効率化					余地が	多い	   必要最低限の人数で事務を行っており見直しの余地はない。						
						効率的		hh+ 7	が安取は限の人数で事物で行うでのう先直しの示地はない。						
		手順、関与職員 「しの余地はな「		ΟLI			赤地が	ややある タハ	-						
÷+	投入	コストの適切	71件		Ш			3/61	  最小限の事業費で実施している。						
<del>☆</del>					☑ 適切である □ 改善の余地がややある			<b>かか</b> ある	取り下成の手不及で大加50でv-0。	2					
		するコストは適 !はないか)	止か、削	冰	Ш		余地が		1						
	財源	確保の適切	性		Ш	適切で		<i>5</i> V1	   令和5年度は事業内容が固まっていないところがあったため申請しな						
		者負担は適正な	-	144	ĺ			ややある	かったが、スポーツ振興くじ助成金(toto)の活用を検討する。						
	の補助	自兵担は過止だ ]等はないか)	八四、万	₹ 📆			余地が		1						
-					妥当		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,		検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)						
			0点	1.	点	2点	3点		<b>養としては「スポーツイベント開催事業」に統合することとする。</b>						
		いずれか0点	d	,	2	С	С								
	_		u	Ľ	_	C	C								
分	対して対象	いずれか1点	С	(	2	С	С								
析	· .	合計4点	С	(	3	b	b								
検証	効率性		С	ł	5	b	а								
紀	ī   -	合計6点	С	ŀ	)	а	а								
							<u></u>								
		b				あり しが									

3 /	] 本   ( 一	CIIO	N) L).	אר וורע	叫们不	200	に07年度以降の対応方針を検討する]
				コストの	)方向性	ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後	成果の方向性	維持		Е	D		
今後の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
	[	0	成果	・費用	とも終	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	□0!	5年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業					事務事業コード	1503205
事務事業名			公民館対抗綱引き大会開催事業	;	担当課	課社会教育課		担当係	スポーツ振興係
			T	1	\	0.1	60. 4 = 1		
総 休	施策	03	住民活動・地域交流の推進	予	会計	01	一般会計		
合	<b>旭</b> 宋	03	住氏治期・地域文流の推進 	算	款	10	教育費		
総合計画系	BD (160 7. → A)	2 2	町民同士の交流を増やし、地域活動・住民活動		項	06	保健体育費		
曲糸	取り組み方針	3-2	町民同士の交流を増やし、地域活動・住民活動に参加するきっかけをつくる	l	目	02	体育振興費		
根拠	心法令条例等			佢	固別計画				
実施	期間 🗍 05	年度(	Dみ	冶		期間阻	定(複数年)	年度·	~   年度

### 1 計画·実施(PLAN·DO)

#### (1) 事務事業の目的と事業内容

<u> </u>			_	1		0.7 F. F.
_		対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
事	①対象	⑦ 町民	人	46,631	46,588	46,497
事務事業	(誰を、何を)	① 公民館	団体	30	30	30
業		(b)				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・多世代交流ができ、団結力や連帯感が促進される				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	公民館対抗での綱引き大会を行う ・大会内容の協議、公民館への案内、組み合わせ抽選会の実施 ・会場準備、当日の進行、後片付け				

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	体育部長会議開催数	<b>1</b>		目 標	3	3	3	33.3%
,	/山北//		'	1	実 績	1	1		33.370
1	活動	  綱引き大会開催数	<b>1</b>	回	目 標	1	1	1	100.0%
	/口玉//		ı	บี	実 績	未開催	1		100.070
ゥ	活動	広報、ホームページ掲載回数	<b>1</b>		目 標	4	4	4	100.0%
	/口玉//	公式、ハームハーンド単型の	'	ii	実 績	4	4		100.076
I	成果	参加者数	<b>^</b>	,	目 標	300	300	300	75.7%
	以木	多加省数	'	入	実 績	未開催	227		75.770
才	成果	参加公民館数	<b>^</b>	団体	目 標	15		15	86.7%
	以木		'	平四	実 績	未開催	13		30.770
カ					目 標				
73					実 績				

#### (3)総事業費の推移

	※四捨		京内訳(単位 り合計値が合わ	:千円) ないことがあります	04年度 (決算値)	05年度 (当初予算)	05年度 (決算値)	06年度 (当初予算)	07年度 (計画)
事		特定	国·県支出	出金、地方債	0	0	0	-	(ETE)
7	経	財源	その他	特定財源	0	0	0	-	
業			一般財源 15 90 67			-			
費	費		合計(		15	90	67	1	
貝				用職員人件費)				ı	
		正職	員人件費[按	分](B)	383	856	922	-	
			トータルコスト(A)+(B)		398	946	988	-	
関	与職員	員数(単	单位:人)	正職員	0.05	0.11	0.11	_	

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
昭和60年から地域住民のふれあいと、スポーツを行うきっかけづくりのために始められた。		参加公民館から、継続してほしいとの声がある。また、成績上位チームがここ数年ほぼ同じ公民館であるため、組み合わせなどの競技方法を見直してほしいとの意見がある。

2	分析	斤·検証(C		()					
		評価の視				項	目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定
	-	施策への貢		<u> </u>	_ 貢献度	要高い こうしょう		この事業の目的は、「綱引き」を通じての町民相互のふれあいや世代間	
		事業の成果が す姿の実現に直			貢献度	きふつう		の交流であり、上位施策への貢献は大きいと考えられる。	
	か)	9 <b>女</b> 07 <del> 2</del> 2 2 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	2/10 ( 0	. [	貢献度	運低い しょうしん			
玄	意図	の適切性		Ŀ	2 妥当で	ある		この事業は、地域のふれあいやスポーツのきっかけづくりを目的として	
当	(総合	計画、町民の二	ニーズ、法	令 [	]検討の	余地が	ある	スタートしており、町の人口が増え、新しい公民館ができている状況で、 地域住民の交流のきっかけの場となる綱引き大会を町として開催する	3
性	か)	りして、息凶か:	週切ぐの	, [	]検討の	余地が	多い	¶地域住民の交流のごフかけの場合なる利引ご人去を明として開催する 【ことは妥当である。	
	自治	体関与の必	を きゅう きゅう かい こう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅう しゅ	[·	2 妥当で	ある		綱引きのチームと公民館の関係が深く、地域住民の交流をつくる行事に	
	(自治	はか主体で取	組むべき	· 事 [	]検討の	余地が	ある	行政がかかわることで、施策の推進を図ることができる。	
		住民参画の余			検討の	余地が	多い		
	成果	の向上余地	þ	Į.	/ 期待す	る成果	が得られている	新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことで、当大会を再	
		する成果を得			成果の	向上弁	や地がややある	開することができた。開催できない空白の時期があったにも関わらず参	
	後期待あるか	寺する成果をあ か)	げる余均	地が一	成果の	向上余	地が多い	加者数・参加公民館数ともに期待する参加があった。	
有		の適切性		Į,	/ 適切で			全町民が対象のため、適切である。	
	(意図	を達成するう	えで、現れ	犬の 「			ややある		3
	対象記	設定が最も有效対象設定はない	カか、他に \か)	有 片	改善の				)
	手段	の適切性	,,	Ţ				   多世代交流ができ、団結力や連帯感が促進されると思われる。	
	(意図	を達成するう	えで、現れ	<u> </u>	=		 ややある		
	手段な	が最も有効か、 まないか)	他に有効	か  -	] 改善 <i>(</i>				
		の効率化			7 効率的		<b>J</b> V.	   必要最低限の人数で事務を行っており見直しの余地はない。	
	/ <del>业</del> 攻	手順、関与職員	3.1.米/	F	=		 ややある	,	
		子順、メチェリ 直しの余地はな							
効	投入	、コストの適	切性	Ţ				  最小限の事業費で実施している。	
郊		するコストは近		F			ややある		3
性	の余地	也はないか)	■111777、日	1,19%	改善の				)
	財源	確保の適切	性	Ī	7 適切で			  補助金等はとくにない。	
	(四米	者負担は適正	#\ <b>□ □</b>	F	=		ややある		
		助等はないか)	//、国、 <sub>万</sub>		] 改善 <i>0</i>				
				妥	当性	.,.		ー 検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)	
			0点	1点	2点	3点	新型コロナウィ	イルス感染症が5類感染症に移行したことに伴い、令和元年ぶりに大会を再	開
		いずれか0点	d	_			することができ	きた。参加公民館数は15公民館から13公民館と2公民館の減。参加者数も	535
	_		u	С	С	С	0人から22'/	人に減ったものの競技中の活気は素晴らしいものがあった。前回出場して の中から復帰した公民館もあったりするため、今後も継続していくことでも	いなし
5		<b>有</b> ┃ 効┃いずれか1点	С	С	С	С		か中かり後帰した公氏語ものうたりするため、っ後も胚続していてことでき 加することに期待する。	>\\U
木	T É	<u>4</u>						:度は事務事業としては「スポーツイベント開催事業」に統合することとする	
村	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	·   合計4点 効	С	С	b	b			
言	F	率合計5点	С	b	b	а			
糸	5						-		
身	₹ _	合計6点	С	b	a	а			
		a	業務ある		容は適	切で			

3 /1	亚I (A)	~ I I O I	N) L).	J 1/I 1/K	叫小人	ے ن	に07年度以降の対応方針を快割する」
				コストの	)方向性	ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)
			皆減	縮小	維持	拡大	
		拡充		С	В	Α	
今後の	成果の	維持		Е	D		
の方向性	方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)
性		休廃止	G				
		0	成果	・費用	とも糸	辪	

[福岡県志免町]

基本性	青報	√05	5年度 実施計画事業 □総合戦略該当事業	ŧ			事務事業コード	1503207
事務事業名			地域公民館等改修事業		担当課	社会教育課	担当係	社会教育係
445 LL					会計	01 一般会計		
総合計画系	施策	03	住民活動・地域交流の推進	予算		10 教育費		
計	取り組み方針	2 2	町民同士の交流を増やし、地域活動・住民活動	1	項	05 社会教育費		
当 糸	以が社のプロ亚	3-Z	に参加するきっかけをつくる	日	目	02 公民館費		
根挑	処法令条例等			1	固別計画			
実施	期間 🗆 05	5年度の	のみ   ②単年度繰返 R 3 年度より開	始		期間限定(複数年)	年度~	~   年度

### 1 計画·実施(PLAN·DO)

### (1) 事務事業の目的と事業内容

		対象名	単位	04年度	05年度	06年度 (見込)
事務事業	①対象 (## & G & )	⑦ 長寿命化改修実施対象公民館(志免町公共施設個別施設計画)	施設	29	28	27
事	(誰を、何を)	<b>(1)</b>				
		(b)				
の目的	②意図 (対象をどのような状態にしたいか)	・安全性と機能性が向上する				
事業内容	③手段 (どのようにして) ※実施年度に行った主な活動	すべての公民館を対象に建物の長寿命化(木造20年、鉄筋40年の延長 る ・成和公民館改修工事 ・南里二公民館改修調査設計 ・水鉛公民館用地購入	)を目的	的とした。	女修工事?	を実施す

#### (2)指標達成状況

	種別	指標名	目指すべき 方向性	単位		04年度	05年度	06年度 (見込)	達成率
ア	活動	調査設計件数	1	件	目標	1	1	1	100.0%
					実績 目標	1	1	1	
1	活動	改修工事件数	1	件	実 績	1	1		100.0%
ウ	成果	工事完了進捗率(累計) (工事完了数/	<b>↑</b>	%	目標	7	10	13	100.0%
-	.,,,,,,	対象公民館数)			実績	.7	10		
エ					目標				
					実 績				
才					目標				
					実 績				
力					目 標				
71					実 績				

#### (3)総事業費の推移

			原内訳(単位:		04年度	05年度	05年度	06年度	07年度
	※四捨	<b>五入によ</b>	入により合計値が合わないことがあります		(決算値)	(当初予算)	(決算値)	(当初予算)	(計画)
事		特定		出金、地方債	0	0	0	0	
	経	財源	その他	特定財源	37,828	70,490	60,675	61,919	
業			一般則	才源	5,742	975	920	1,011	
費	費		合計(	A)	43,570	71,465	61,595	62,930	63,180
頁		(内	会計年度任用	用職員人件費)					
		正職	員人件費[按	分](B)	3,440	4,111	4,424	5,015	
		トー	タルコスト(A	v)+(B)	47,010	75,576	66,019	67,945	
関	関与職員数(単位:人) 正職員			0.45	0.53	0.53	0.57		

①事務事業開始のきっかけ	②事務事業を取り巻く環境の変化	③事務事業に対する関係者からの意見・要望
建物の耐用年数を経過した公民館もあり、 躯体や設備機器等の老朽化も著しく、地域 住民が安全で快適に利用できる環境を維持 するためには、施設の改修を行い長寿命化 を図る必要があることから開始された。	施設が古く、身体が不自由な方へ配慮した設備が備わっていない公民館もあり、老朽化の解消だけでなく、バリアフリーの観点からも改修工事が必要となっている。	大規模な改修になるため、町内会、役場、業者で協議の上、しっかりとした改修にしたい。

事務事業名
地域公民館等改修事業

2 分析・検証(CHECK)

<u> </u>		T・検証(C	_	<u>LK</u>	.)		TE		一切は日の判断は中央なる。	小一				
		評価の視		_			項	.目	評価結果の判断理由及び課題認識、課題に対する対応策	判定				
	上位施策への貢献度 (事務事業の成果が上位施策の 目指す姿の実現に直結している か)					」貢献度			地域活動・住民活動の拠点である公民館の安全性と機能性を向上させることは、上位施策の自主的・自立的な活動を促し、町民同士が盛んに					
E						□ 貢献度ふつう □ 貢献度低い			交流するまちづくりに直結する。					
9	意図の適切性 (総合計画、町民のニーズ、法令					/ 妥当で			公共施設個別施設計画において、建物の機能を回復・向上させる長寿命   化改修を行うことになっているため妥当である。	2				
	対に対	計画、町氏のこ 打して、意図が				検討の				3				
13		<b>仕間との</b> と	V == .W			検討の		多い						
	3冶	体関与の必	少安化	±	Ľ	/ 妥当で			町が所有する公共施設(社会教育施設)であり、改修内容について地元 町内会と協議を行い意見を反映しているため、住民参画にもつながっ					
		体が主体で取				検討の			Tいる。					
	業か、住民参画の余地はないか) 					検討の								
			_					が得られている	計画どおり事業を進めており、期待する成果が得られている。					
		する成果を得 まする成果をa						地がややある						
あ	あるか)							地が多い						
H		の適切性				/ 適切で			公共施設個別施設計画において、建物の機能を回復・向上させる長寿命  化改修が必要とされている対象であるため適切である。	3				
効り	意図· まま	を達成するう 设定が最も有す	成するうえで、現状の が最も有効か、他に有			」改善の	余地が	ややある	LCX  修か必要とされている対象であるにの適切である。					
		対象設定はない	ハか)			改善の		多い						
		の適切性				/ 適切で			公共施設個別施設計画において、既存施設の長寿命化を図ることとしているため適切である。					
(j  手	意図 -段か	を達成するう が最も有効か、	えで、! 他にす	現状 复効な	のと	□改善の余地がややある			(いるにの週切である。					
手	段は	はないか)				改善の	余地が	多い						
月	業務の効率化				Ľ	☑効率的である			建築に関する技術的な部分では、技術職の職員の協力を得て業務がで きている。					
	(業務手順、関与職員人数につい					□ 改善の余地がややある			C (V)00					
	て見直しの余地はないか)					□改善の余地が多い			7.4版担持に広いた内容でも11 VIIIでの会長はよい1					
XVI	<b>发人</b>	コストの道	ストの適切性				ある		建物規模に応じた内容であり、削減の余地はない。					
率は	投入	するコストは〕 也はないか)	適正か	1.5 ( Fisher		<b>善の余地がややある</b>								
			T 144	□ 改善の余地が		多い	サムは1ム/ナみ町もここ/ サム 木井電塩ホト以サム/ナー・ガナバ							
月	才源:	確保の適切	川生		Ľ	☑ 適切である			基金繰入金(志免町おうえん基金・森林環境譲与税基金)を一部充当し  ている。					
		者負担は適正 か等はないか)		]、県	等  -	=		ややある	(1.9)					
0.	州以	/付けないが)				□改善の余地が多い			10=1/d-B(-1) + 7 ///4 / 0.5 F. rt o.15 // 10=11 = 10 - 7 o.1   1 / 2 // 10 // 10   10 // 1					
			Ļ			当性			検証結果に対する総括(05年度の振り返り・課題点とその対応策など)	4.#				
			0,	点	1点	2点	3点		調査設計においては、社会情勢による建築資材等の大幅な価格高騰や人 、昨年度に引き続き従来の予算枠より枠を拡げて設計を行った。	+賀				
		いずれか0点	ī (	k	С	С	С		設個別施設計画に沿って改修工事を進めていく予定であるが、社会情勢を	注視				
$\Lambda$	(性・効率性)	<u> </u>			_			し予算化する。						
分析		カーいずれかりだ	ā C	•	С	С	С							
1/1		· 合計4点	(		С	b	b							
検														
証		合計5点	₹ (	3	b	b	а							
結果		合計6点	ξ (	C	b	а	а							
		а	業あ		の内!	容は適	切で							

3 /1	3 方針(ACTION) 「分析・快証給来をもとにU7年度以降の対応方針を検討する」									
				コストの	)方向性	ŧ	成果の方向性(取り組み概要と期待される効果)			
			皆減	縮小	維持	拡大				
		拡充		С	В	Α				
今後の	成果の方向性	維持		Е	D					
の方向性		方向性	縮小		F			コストの方向性(一般財源・関与職員数)		
性		休廃止	G							
	D		成果	・費用	とも糸	辪				